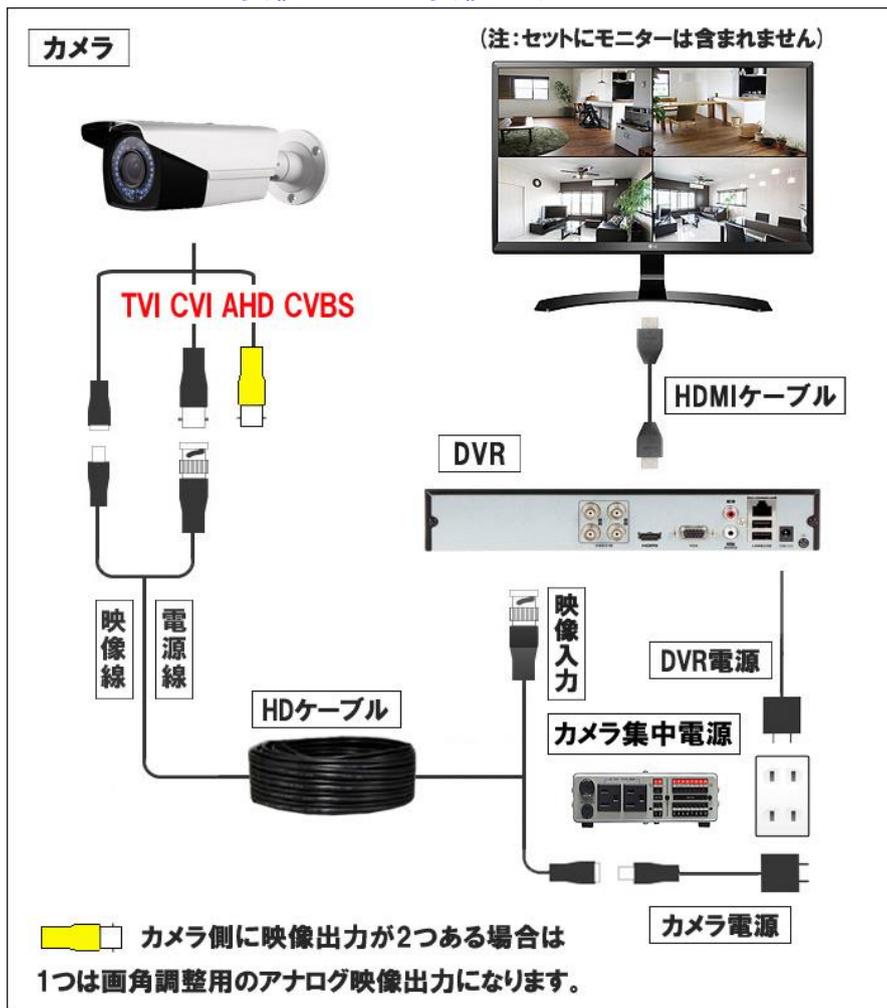


同軸防犯カメラ用レコーダー
ALDVR-5504

取扱い、説明書



レコーダーの接続端子・接続方法



- 1、レコーダーに付属品の電源を接続します。
- 2、HDMI ケーブルまたは VGA ケーブルを使用して外部モニターに接続します。
※ケーブルは付属していません。
- 3、インターネットに接続する場合はレコーダWANポートとルーターをLANケーブルで接続します。
- 4、モバイルで監視を行う場合は別紙遠隔監視マニュアルを参照して設定してください。
- 5、同軸ケーブルでレコーダーのBNC端子口とカメラを接続します。
- 5、カメラ映像がモニターに表示されます。
- 6、レコーダ背面のUSBポートにマウスを接続します。

注意:

遠隔監視を行う場合、レコーダはルーターと無線で接続することは出来ません。必ずLANケーブルを使用してください。.

1.1 レコーダーの設置

以下に記載している事柄の作業は別紙の防犯カメラ配線図がありましたら配線図通りに必ず接続を行ってください。正常に接続されないと正常な動作を開始しない場合があります。ハードディスクの設置につきましては知識のある方が作業を行ってください。

※防犯カメラセットを購入された方は、ハードディスクは設置して発送しております。

基本的な接続

■ カメラ

レコーダーの背面パネルに、同軸ケーブルを用いてカメラ出力を各々の VIDEO IN のソケットに接続してください。

映像入力インターフェースは、標準的な BNC コネクタとなっており、1Vp-p は 75 Ω となっています。

映像ケーブルから強い電磁気や電氣的な干渉物は遠ざけるようにしてください。

■ オーディオ

音声入力インターフェースは、標準的な RCA となっており、2Vp-p 600 Ω です。

音声ケーブルから強い電磁気や電氣的な干渉物は遠ざけるようにしてください。

■ モニター

出力コネクタをモニターまたはテレビに接続してください。

■ 電源

付属のレコーダー用の DC12V アダプターを使用してください。

※付属の DC12V アダプター以外を使用しますと、正常な起動ができない場合がございます。

■ イーサネット

ローカルネットまたはインターネットによる遠隔アクセスのために、標準的な RJ-45 仕様のイーサネットケーブル (LAN ケーブル) をイーサネットコネクタに接続してください。

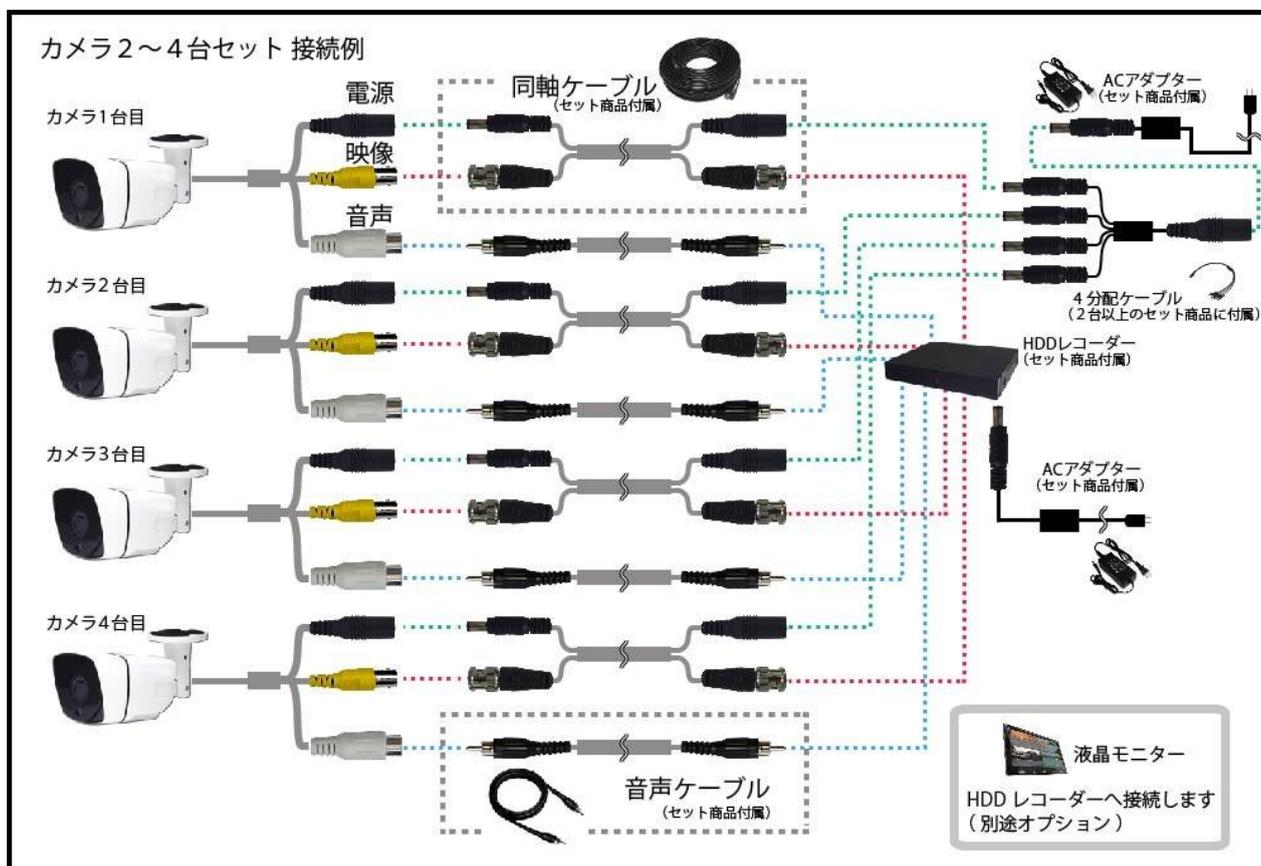
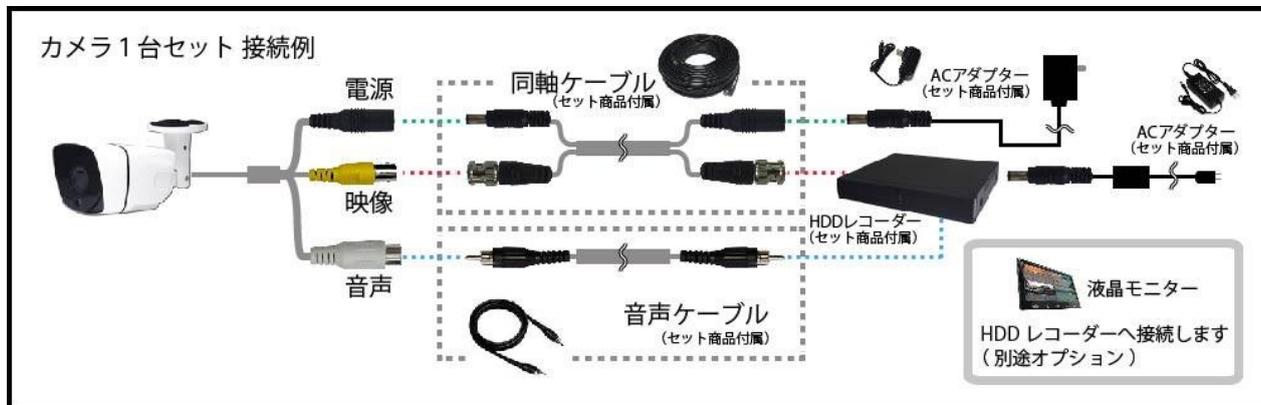
■ USB

USB マウス、USB フラッシュメモリを接続する事が出来ます。

※外付けのハードディスクは対応しておりませんのでご注意ください。

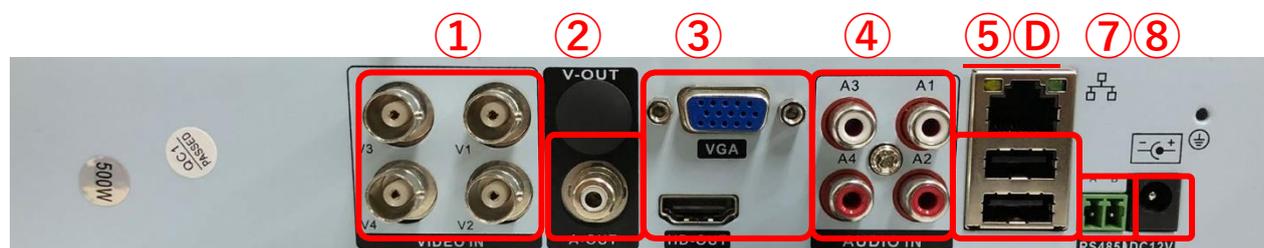
※USB フラッシュメモリにつきましては、フォーマット形式は FAT32 のみ対応となります。

1.2 レコーダーの接続例



※カメラ2台セット以上の場合、付属のカメラ用4分配電源ケーブルを用いて、カメラ用アダプターより電源を分配接続します。

1.3 リアパネル



①	ビデオ入力 (BNC)	②	オーディオ出力	③	HDMI/VGA ビデオ出力
④	オーディオ入力	⑤	LAN コネクタ	D	USB2.0 ポート
⑦	RS485	⑧	電源出力 12V		

1 ビデオ信号と音声の入出力接続

2.1 ビデオ入力接続とオプション

本製品はビデオ入力ポートとしてBNC コネクタを有しています。入力信号の要求はPAL/NTSC BNC(1.0V_{p-p}, 75 Ω)になります。

このビデオ信号は高SN 比、低収差、低干渉の状態が標準である必要があります。

ビデオ伝送ラインの安定かつ高信頼性のために

ビデオ伝送ラインは伝送距離によって適切な高品質同軸ペアを使用してください。伝送距離が遠い場合は信号品質を保つために、シールドされたツイストペアや、ビデオ補償装置、または光ファイバでの信号伝送をご使用ください。

ビデオ信号ラインは、電磁干渉および他の機器の信号ラインから離してください。特に高電圧電流から離してご使用ください。

接続の安定かつ高信頼性のために

信号線とシールド線は、半接触や接点酸化を避けるため、信頼性のあるものをご使用ください。

2.2 ビデオ出力接続とオプション

この製品ではビデオ出力信号はPAL/NTSC BNC(1.0V_{P-P},75Ω)とVGA出力に分配されま
す(選択設定可能です)。

パソコンのディスプレイにモニターを使用する場合下記に注意してください。

- 1、長時間電源オン状態にしないでください。
- 2、定期的に電源を切りパソコンのディスプレイの表示を正常に保ってください。
- 3、電気磁気干渉から離れてください。

テレビはビデオ出力として信頼できる代替品ではありません。その場合、使用時間を短くすること
や電源、近くの機器のとの干渉を厳密に制御する必要があります。また、低品質のテレビとの接続
によって、別の機器の故障を招く可能性があります。

2.3 ビデオ入力

当社製品においてほとんどの当社のカメラ製品はサポートされています。AHD-L, AHD-M, AHD-H
その他チャンネルモードに互換性がありますが、いくつかのモデルは当社のカメラのみがサポートさ
れています。

2.4 音声信号入力

音声ポートはBNC 接続(コネクタは RCA 端子)になります。

入力インピーダンスが高いのでトーンアームは有効としてください。

音声信号ラインは、電気磁気干渉を避ける必要があります。コネクタやケーブルは半接触や接点
酸化を避けるため、信頼性のあるものをご使用ください。

2.5 音声出力

一般に、DVR 音声信号の出力パラメーターは 200mv1K Ω (BNC)を超えており、低インピーダンスのイヤホンと接続することができます。またパワーアンプを用いてアクティブサウンドボックスまたはその他のオーディオ出力機器との接続も可能です。サウンドボックスとトーンアームが分離できない場合はハウリング現象が起こることがありますが、下記をお試しいただくことによりこの現象に抑えることができます。

- 1、より指向性のよいトーンアームを使用する
- 2、サウンドボックスの音量を、ハウリング現象を発生させるしきい値以下に調整する。
- 3、サウンドの反射を減らすためにサウンドを吸収する吸収材を使用する。
- 4、サウンドボックスとトーンアームの配置を調整する。

2.6 アラーム入力出力接続

デバイスに接続する前に、次の状態に注意してください：

1.アラーム入力

こちらの機能はご使用いただけません。

2.アラーム出力

大きな電力を要するアラーム出力機器への接続はできません(1Aを超えないこと)。出力ループを形成するときは、電流がリレーを破損しないようにする必要があります。電力負荷がある場合は接点アイソレータを使用してください。

3.PTZ デコーダー接続

- A. 高電圧がかからないようにしてください。雷の影響が無いように注意して配置を行ってください。
- B. 終端は電圧変動を減らし信号品質を保つために、120 Ω の抵抗を並列に接続します。
- C. DVR の RS485 AB ラインは、他のRS485 出力機器と並列接続できません。
- D. デコーダーのAB ライン間の電圧は 5V 未満としてください。

4.アラーム入力タイプの制限

本 DVR アラーム入力ポートは常時オープンタイプです。

3.1 電源オン

電源プラグを差し込み、電源スイッチを ON にします。本製品が起動すると電源 LED が点灯します。起動後、ピープ音が鳴ります。ビデオ出力のデフォルト設定は、マルチウィンドウ出力モード（4分割画面表示）です。起動時間がタイマー録画設定時間内であれば、自動的に録画を開始します。

備考:1. 入力電圧がDVR電源に対応していることを確認してください。

備考:2. 電源電圧は 100V ± 10% / 50Hz が要求されます。UPS（無停電装置）を使用して停電時に備えることをおすすめします。

3.2 電源オフ

本製品の電源を切る方法は 2 つあります。[ログアウト]より[電源 OFF]を選択する方法をソフトウェア、電源スイッチを押す方法はハードスイッチと呼びます。

電源に関する注意事項:

1. 停電後の自動再開

DVRが正常にシャットダウンされなかった場合、DVR は自動的にビデオをバックアップし、停電後の以前の動作状態を再開することができます。

2. ハードディスクを交換する

交換する際には必ず電源をOFFにし、電源アダプターを抜いて作業してください。

3. 電池を交換する

電池を交換する場合、必ず電源 OFF にしてください。本製品はボタン電池を使用しています。システム時間は定期的にチェックする必要があります。システム時間が正しくない場合は、ボタン電池を交換する必要があります。ボタン電池は 1 年に 1 度交換するようにしてください。

備考: 電池を交換する前に設定情報を保存しない場合、設定情報が失われます。

3.3 システムログイン

本製品が起動し操作をする際、ユーザーはまずログインが必要です。システムはユーザー権限に

対応する機能を提供します。ユーザー設定は 2 つあります。ユーザー名は「admin」で、初期ではパスワードは「alta9999」です。admin はスーパーユーザー権限（フルアクセス）です。

またログイン前の「デフォルト」のアクセス許可はプレビューとビデオの再生のみです。

admin ユーザーのパスワードは変更できますが、権限は変更できません。「デフォルト」は、権限は変更できますがパスワードは変更できません。



システムログイン

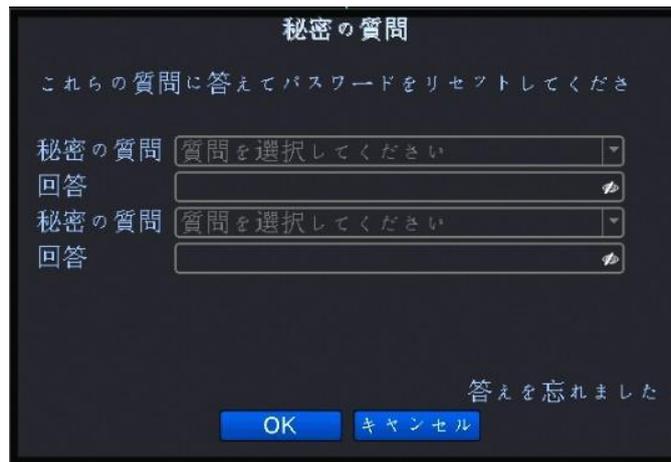
パスワード保護: パスワード入力が 3 回連続して間違ったときには、警告が発生します。パスワード入力が 5 回連続して間違ったときには、アカウントがロックされます(再起動または 30 分経過により自動的にアカウントのロックは解除されます)。



パスワードエラー

セキュリティ質問: もしパスワードを忘れたら、右側の「?」をクリックし、パスワードを変更するリセット画面（秘密の質問）に入ります。

注記: 初期の状態ではセキュリティ質問は設定されていません。ユーザー管理画面に入って設定しておく必要があります。もしセキュリティ質問を 6 回連続して間違えると、パスワードリセット画面はロックされます（システムの再起動にてパスワードリセット画面のロックは自動的に解除されます）。

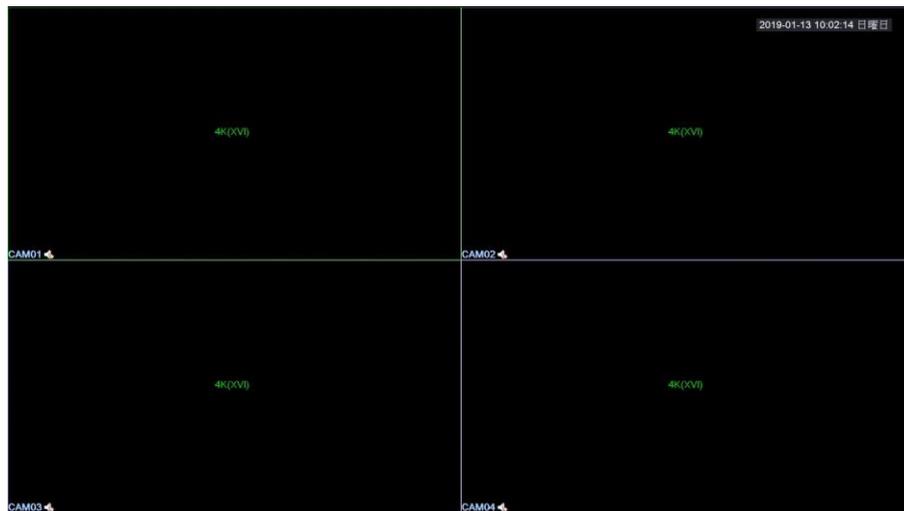


セキュリティ質問

セキュリティ保護のため、初回ログイン時にユーザー名、パスワード、セキュリティ質問をユーザー管理(4.3.6の「アカウント」を参照)で変更してください。

3.4 プレビュー

デバイスに正常にログインした後、プレビュー画面が開かれます。



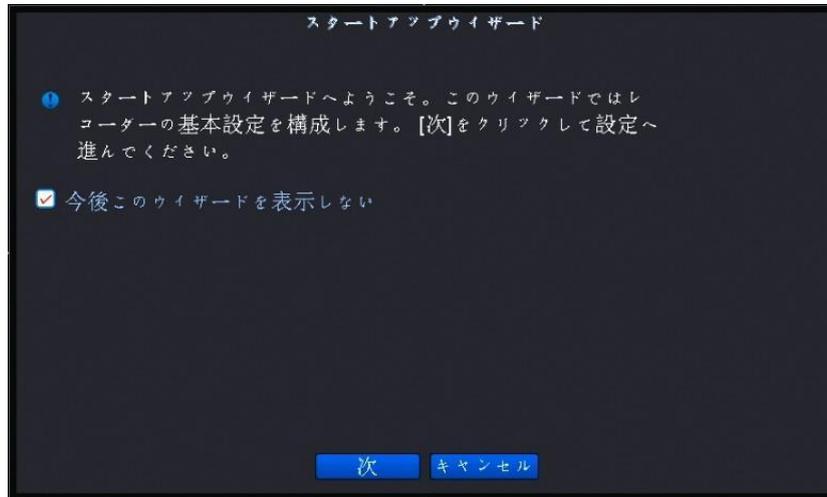
プレビュー状態

システムの日付、時刻、チャンネル名、チャンネル解像度、各チャンネルの信号モード(ほとんどの機器がサポートしています)が各ウィンドウに表示されます。各ウィンドウには監視ビデオとアラーム状態が表示されます。

1		チャンネルビデオ	4		チャンネル録画ロス警告
2		チャンネルモーション検出アラーム	5		チャンネル録画非表示警告
3		チャンネル音声ボタン	6		チャンネルモニターロック
7		チャンネルがサポートする最大解像度	8		AHD&TVI&CVIの信号切り替えボタン
9		各チャンネルのビット値(特定デバイスのみサポート)			

3.5 スタートアップウィザード

スタートアップウィザードでは基本的な操作と設定を実行します。



起動ウィザード

【今後このウィザードを表示しない】 このチェックボックスを選択すると、次回起動時よりスタートアップウィザードが表示されなくなります。

【次】 次のステップ： 時間と言語の設定、ネットワークテスト、ネットワーク設定、モバイルクライアントソフトのダウンロード、モバイルクライアント設定に移ります。

【キャンセル】 スタートアップウィザードモードを終了します。



時間・言語設定

【時間帯】 本製品のシステム時間のタイムゾーンを設定します

【時刻設定】 DVR のシステム時間を設定します

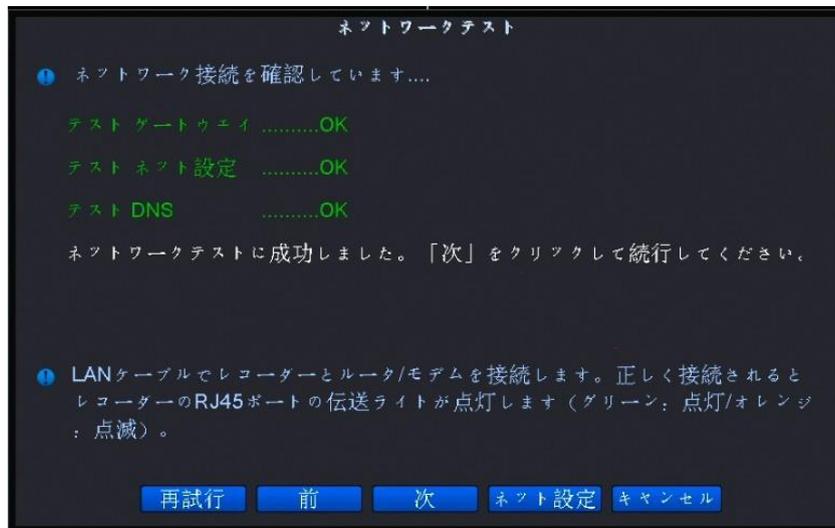
【日付表示方式】 プレビュー画面で表示される DVR システム日付の形式を設定します

【時刻書式】 プレビュー画面で表示される時間を 12 時間表示または 24 時間表示に設定します

【サマータイム】 DVR システム時間にサマータイム設定をするまたはしないを設定します

【言語】 DVR システムの言語を設定します

【次】 次の DVR ネットワークテストへ移ります



ネットワークテスト

【結果】 ゲートウェイ、ネット設定、DNS テスト結果を表示します。緑色は OK を表し、赤色の ERR はエラーを表します

【再試行】 [再試行]をクリックすると、ネットワークテストを再実行します

【ネット設定】 IP アドレス、ゲートウェイ、DNS などを設定します

【スキップ】 テストに失敗するとこのスキップボタンが現れます。ユーザーはこのボタンをクリックするとネットワークテストをスキップできます



モバイルソフトウェアのインストール（固体番号のためモザイク処理をしています）

Android または iOS のモバイルフォンやタブレットが対応する 2 次元バーコードをスキャンすると、専用のモバイルクライアントソフト(XMeye)をインストールします。

次に XMeye を開き、デバイスの追加「+」より QR コードをスキャンすると、XMeye に DVR を追加することができます。

3.6 デスクトップショートカットメニュー

プレビューモードでマウスを右クリックすると、
デスクトップショートカットメニューが表示されます。



メインメニュー	各種設定を行うためのメニュー画面を表示
スタートアップウィザード	基本設定を確認する項目
録画モード	各チャンネルごと 3 種類の録画方法の設定を表示
録画再生	録画データの再生画面を表示
PTZ コントロール	この機種は非対応
XVI 制御	XVI 対応カメラの多様な設定を行います
XVI&AHD	カメラの入力信号の切替
高速 PTZ	この機種は非対応
アラーム出力	この機種は非対応
色彩調整	選択しているチャンネルの色彩調整画面を表示
表示調整	メイン画面の表示位置などを調整する画面を表示
ログアウト	ログアウト・電源OFF・再起動の項目を表示
1画面表示	選択したチャンネルをフルスクリーン表示
4画面表示	全チャンネルを一括表示(4 分割表示)

3.6.1 メインメニュー

メインメニューには、DVR の機能に関する設定が含まれています。詳しくは【4 メインメニュー】を参照してください。



メインメニュー

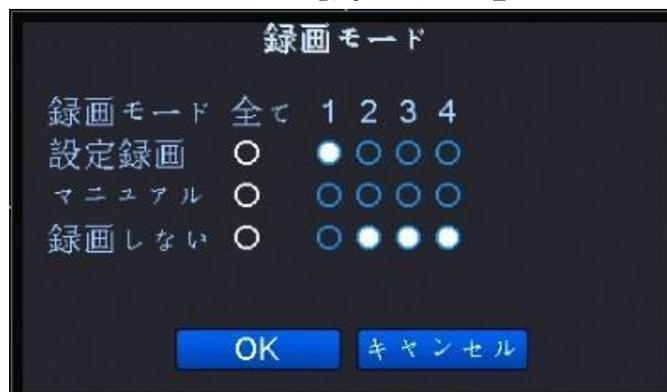
3.6.2 スタートアップウィザード

DVR 起動時に立ち上がる基本設定。詳しくは 3.5「スタートアップウィザード」を参照してください。

3.6.3 録画モード

現在のチャンネル状態。“○”は現在選択されている状態であることを表します。

■ デスクトップショートカットメニュー > [録画モード]



録画制御

【設定録画】 設定に応じたタイマー録画の状態です。

【マニュアル】 設定されているチャンネルがどのような状態であっても、このボタンにより強制的に 24 時間繰り返し録画を行います。

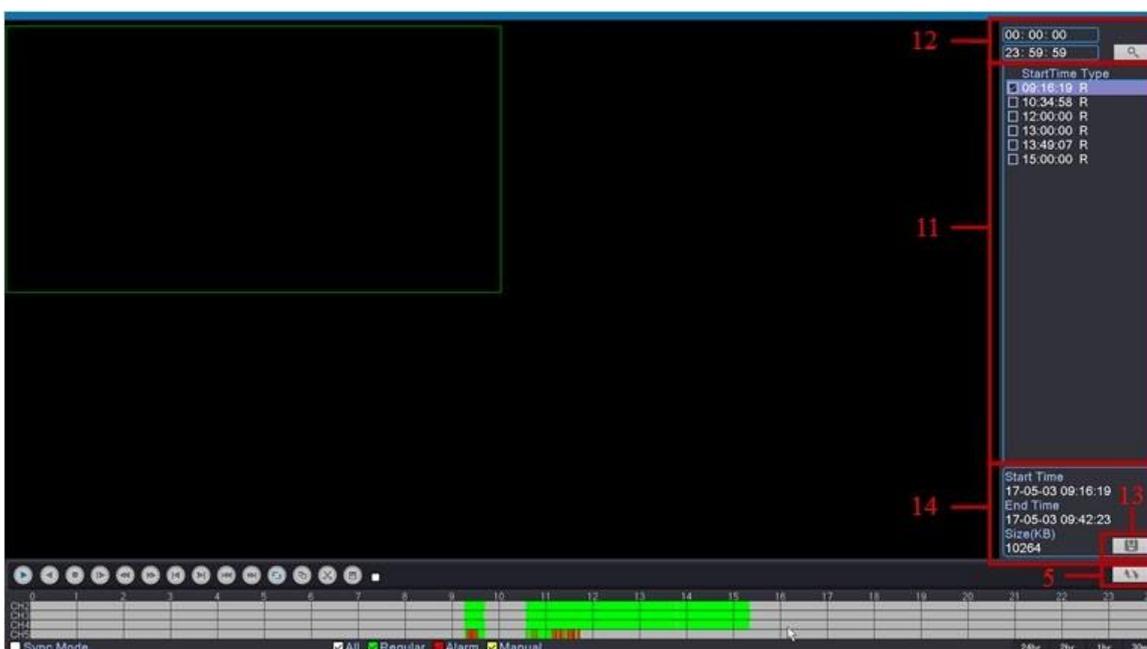
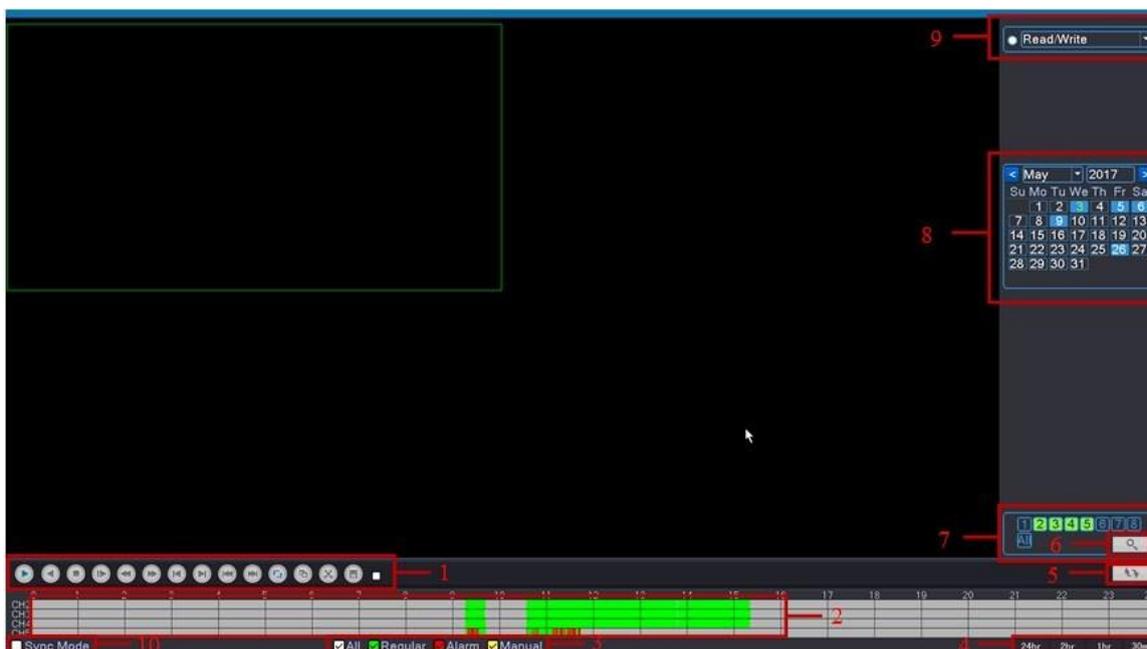
【録画しない】 設定されているチャンネルがどのような状態であっても、このボタンにより録画停止の状態にします。

3.6.4 録画再生

ハードディスクに保存されたビデオファイルを再生する方法は 2 つあります。

1. デスクトップショートカットメニュー > 「録画再生」
2. デスクトップショートカットメニュー > [メインメニュー] > [録画再生]

注記: ビデオファイルを保存するハードディスクは、読み書き可能または読み取り専用の状態に設定する必要があります。



1. ビデオ再生ボタン	2. 時間表示(タイムライン)	3. 録画タイプ	4. 表示切替
5. 時間/ファイル切り替え	6. 検索	7. チャンネル	8. カレンダー
9. 保存場所切り替え	11. ファイルリスト	12. 時間検索	13. バックアップ
14. ファイル情報			

【ビデオ再生ボタン】詳細は下の対応表を参照してください。

ボタン	機能	ボタン	機能
	再生/一時停止		逆再生
	再生停止		スロー再生
	高速逆転再生		高速再生
	前のフレーム		次のフレーム
	前のファイル		次のファイル
	繰り返し再生		フルスクリーン
	編集開始/終了		バックアップ

再生コントロールキー対応表

特殊機能：

高精度再生： 時間パラメータ(h / m / s)を入力し、再生ボタンをクリックします。設

定した時間から再生が始まり正確な再生が可能です。

ローカルズーム： フルスクリーン再生モードになっている場合、画面にマウスをドラッグして範囲を選択し、マウスを左クリックするとローカルズームします。右クリックすると終了します。

注記： チャンネルの現在の解像度が最大解像度を超過している場合、このチャンネルを再生すると赤色の "X"が表示されます。

3.6.5 XVI 制御

同軸コントロール機能により、DVR が同軸ケーブルを介してカメラにアクセスしコントロール信号を送信することが可能になります。これらの制御信号によって、DVR からはカメラやPTZ など、メニューおよび他の機能を制御することができる。

※同軸コントロール機能を使用するには、XVI をサポートするカメラである必要があります。デスクトップショートカットメニューから「XVI 制御」またはメインメニューの [メインメニュー] > [XVI 設定] > [XVI 制御]にアクセスしてください。



XVI コントロール

- 【1、CAM】ドロップダウンをクリックしコントロールが必要なチャンネルを選択します。
- 【2、カメラの調整】カメラのパラメーター、または画像を調整するパラメーターを調整します。
- 【3、OK】カメラのOSD メニューに入る、または、機能を調整します。
- 【4、方向キー】カメラの OSD メニューをコントロールするため 4 本の矢印キーを使用します。

3.6.6 色彩調整

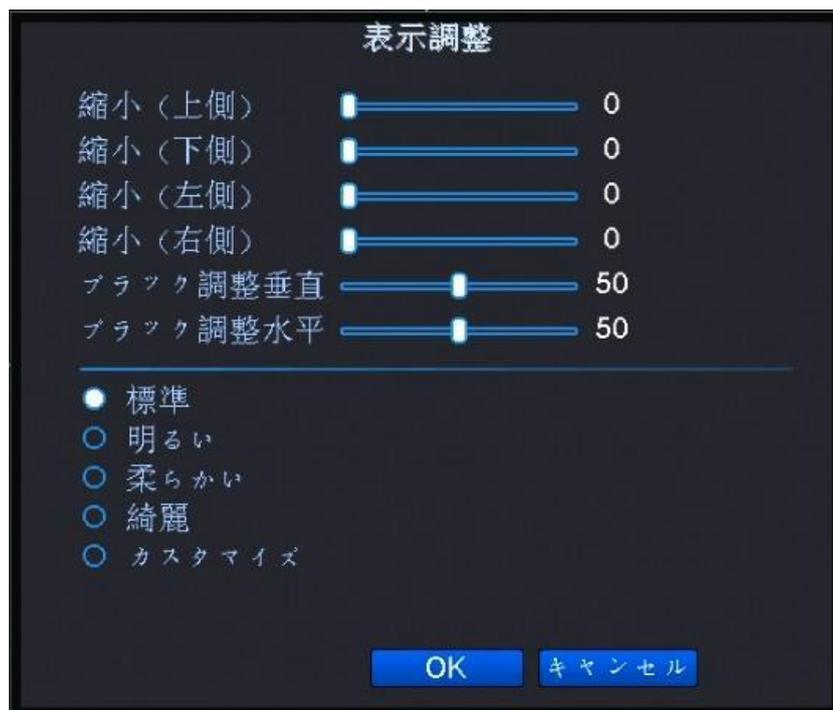
* アナログチャンネルは各々の色を設定でき、デジタルチャンネルはカメラの画像を設定できます。
選択可能な画像パラメーター（単一表示の場合は現在のチャンネル、4分割画面表示の場合はカーソル位置）を設定します。画像パラメーターには、調性、明るさ、コントラスト、彩度が含まれます。また時間間隔で異なるパラメーターを設定することが可能です。



色彩調整

3.6.7 表示調整

VGA、HDMI の出力側の彩度、色調などを調整することができます。そのため DVR の出力は、パソコン用ディスプレイの使用に適しています。



出力調整

3.6.8 ログアウト

システム機能をオフにすることにより、ユーザーは現在のユーザログインからログオフし、レコーダーを再起動することができます。

システムログアウト画面からログアウト、システムシャットダウン、または再起動が選択できます。デスクトップショートカットメニューより [ログアウト] を選択し、ログアウト画面に入ります。



システムログアウトメニュー

【ログアウト】 ログアウトします。次回操作する際にはパスワードが必要になります。

【電源 OFF】 システムを終了し、電源を切ります。

【再起動】 システムを終了し、システムを再起動します。

3.6.9 画面切り替え（単一、マルチ）

プレビュー画面は 1 または 4 個のウィンドウ表示の選択が可能です。

注記：ビデオ入力番号が異なると、切り替え可能なプレビュー画像が異なります。

3.6.10 XVI&AHD（AHD & TVI & CVI 信号の切り替え）

この機能は、アナログチャンネルで各チャンネルの信号モードを制御します。信号スイッチのアイコン  は各カメラプレビューの左下に表示されています。このアイコンをダブルクリックすることで AHD & TVI & CVI 信号を切り替えることができます。

またはデスクトップショートカットメニューより [XVI&AHD] をクリックしてください。

4.1 メインメニュー説明

メインメニュー	サブメニュー	機能
メインメニュー	録画再生	録画検索、録画再生、ビデオファイル保存の設定
	スケジュール	録画タイプ、録画時間などの録画詳細設定
	ネット設定	基本的なネットワークパラメーター、DHCP、DNS パラメーターの設定
	ネットサービス	PPPOE、NTP、Eメール、IP 権限、DDNS、FTP、クラウドサービス、RTSP などの設定
	時刻設定	システム時間、日付フォーマット、日付区切り記号サマータイムなど
	XVI 設定	XVI コントロール、画像強調
アラーム	モーション設定	モーション検出、アラームチャンネル、感度、領域、リンクパラメーター：タイマー定義、アラーム出力録画、スクリーンショット、PTZ、パトロール、ブザー、Eメールの設定
	遮蔽検知	ビデオ遮蔽チャンネル、感度、リンクパラメーター、防御時間、アラーム出力、画面ヒント、録画、スクリーンショット、PTZ、パトロール、ブザー、Eメールの設定
	信号ロス	ビデオロスアラームチャンネル、リンクパラメーター：防御時間、アラーム出力、画面ヒント、録画、スクリーンショット、PTZ、パトロール、ブザー、Eメールの設定
	アラーム入力	この機能はご使用できません。
	警報出力	アラームモード(設定、手動、シャットダウン)の設定
	HDD 異常表示	例外処理の設定(HDD なし、HDD エラー、HDD 容量不足、ネットワーク切断、IP アドレス重複、リンクパラメーター：画面ヒント、ブザー)
	分析	この機能はご使用できません。
	人物検出	この機能はご使用できません。

システム	基本設定	システム時間、データフォーマット、言語、ハードディスクフル時間、マシン番号、ビデオフォーマット、出力モード、サマータイム、稼働時間の設定
	録画画質	録画に関するパラメーターの設定：解像度、フレームレート、コードストリーム制御、画像品質タイプ、コードストリーム値、ストリーム値間フレーム、ビデオ/音声有効
	バックアップ	バックアップデバイスの検出、デバイスのフォーマット、選択ファイルのバックアップをします
	画像保存	この機能はご使用できません。
	出力	チャンネル名、アイコン、透明度、時間表示など設定します。
	ループ表示	ループ表示とインターバル時間を設定します。
	アカウント	ユーザーおよびグループの変更・追加・削除、パスワードの変更など
	シリアルポート設定	この機能はご使用できません。
	PTZ 設定	この機能はご使用できません。
	チャンネル管理	チャンネルモード設定、チャンネル状態の確認
	IPC パラメーター	この機能はご使用できません。
ハードディスク 情報	ハードディスクの読み書き可、読み取り専用、フォーマットなど設定します	
管理ツール	表示調整	上下、近遠、左右の距離、水平垂直方向の黒マージンを調整
	自動 メンテナンス	自動再起動システムと自動ファイル削除の設定
	初期化	各種セットアップの再設定(工場出荷状態に戻します)
	アップグレード	外部デバイス(USB など)の更新をします
	インポート/ エクスポート	デバイスのログや設定の外部デバイス(USB フラッシュメモリなど)へのエクスポート、設定の外部デバイス(USB フラッシュメモリなど)からのコピー

	ログ情報	全てのビデオと時間に関するログ情報の削除
	データ転送速度	データ転送速度を表します
	バージョン情報	機器のバージョン情報を表します
ログアウト		ログアウト、シャットダウン、再起動します

4.2 録画

ユーザーは DVR の再生、録画、キャプチャー機能、ネットワーク、ネットワークサービス、時間、日付、XVI などの設定が可能です。

4.2.1 再生

3.6.4. 章を参照してください。

4.2.1 録画機能 > スケジュール

常時録画・モーション・スケジュール録画など録画方法を設定することができます。



録画セットアップ

CAM	設定を行うカメラ番号。 個別設定の場合：各番号を選択 一括設定の場合：「全」を選択
RAID	この機能はご使用できません。
録画単位	常時録画の時に有効になります。 録画データのファイルサイズの設定。1～120 分の間で設定可能。
録画モード	各種録画方法の選択項目になります。 設定録画：スケジュール録画したいときに選択 マニュアル：24 時間常時録画したいときに選択 録画しない：HDD を節約したい、またはカメラが無いときに選択
事前録画	モーション録画の時、検知する直前の録画秒数の設定。 最大 30 秒まで設定可能 ※1

曜日	設定を行いたい曜日の選択。 特定の曜日とマイ地にを設定可能
設定 1~4	時間ごとに録画方法を最大 4 つまで変更できる設定 ※2 常時・自動・アラームに 2 つ以上チェックがあると誤作動の原因になります
常時・自動・警報	常時:連続録画のときに選択 自動:モーション、遮蔽や信号ロス時を有効するときに選択 警報:この機能はご使用できません。

※1 30 秒に設定した場合でも、状況により秒数が前後する場合があります。

※2 設定した時間が重複している場合、うまく録画ができない場合がありますのでご注意ください。

4.1.1 常時録画の設定

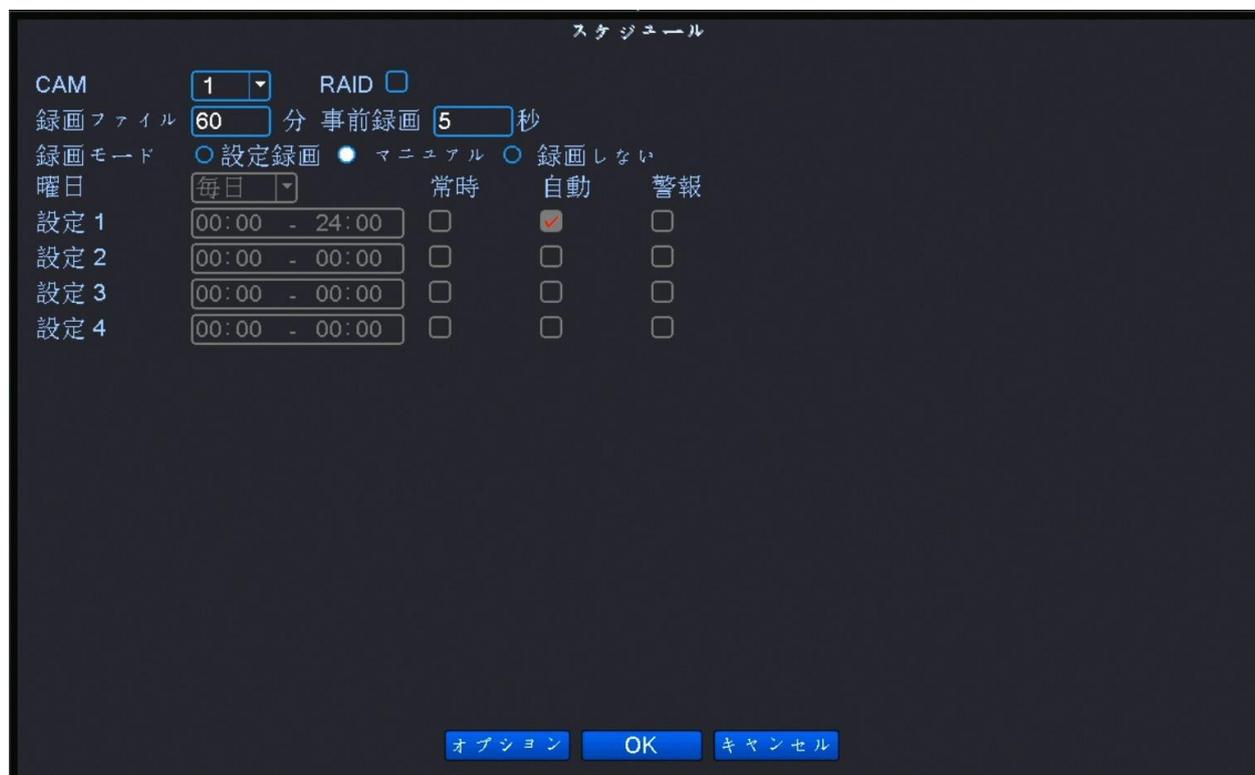
常時録画を設定する際はスケジュール画面から設定を行います。

■デスクトップショートカットメニュー > [メインメニュー] > [スケジュール]

【CAM】より設定を行いたいカメラ番号を選択します。

CAM はカメラの事を示します。

次に、録画モードのマニュアルにチェックを入れます。すると、「曜日」以下の項目は選択できないようになり、毎日 24 時間録画の設定が有効化されます。最後に【OK】を選択し設定を反映させます。



4.1.2 モーション検知録画の設定

モーション検知(動体検知)録画の設定については、

- [スケジュール]の設定
- [モーション設定]の設定

このふたつの設定を行います。

ここではまずスケジュールの設定を行います。

■ デスクトップショートカットメニュー > [メインメニュー] > [スケジュール]

【CAM】設定したいカメラ番号を選択します。

【録画モード】設定録画にチェックをいれます。

【曜日】設定をしたい曜日を選択します。

【設定 1-4】設定したい時間を入力していき、各設定 1~4 の隣にある項目の「自動」にのみチェックを入れ、【OK】を選択しスケジュールの設定を反映させます。

スケジュール

CAM	1	RAID	<input type="checkbox"/>
録画ファイル	60	分 事前録画	5
録画モード	<input checked="" type="radio"/> 設定録画 <input type="radio"/> マニュアル <input type="radio"/> 録画しない		
曜日	毎日	常時	自動
設定 1	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設定 2	00:00 - 00:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 3	00:00 - 00:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 4	00:00 - 00:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

警報



動体検知録画では、1 日に録画できるファイル数が限られています。
1 カメラ 128 ファイル以上は、翌日 0 時になるまで強制録画停止状態になります。
よって設定前にはよく検討し設定を行ってください。

次にモーション設定を行っていきます。

■ デスクトップショートカットメニュー > [アラーム] > [モーション設定]

- 【①】設定を行いたいカメラ番号(CAM)を選択します。
- 【②】「有効」にチェックをいれます。
- 【③】感度の設定を行います(数値が高いほど感度が高くなります)。
- 【④】エリア設定の「設定」を選択し、検知したいエリアの可否を設定します。
- 【⑤】検知の際に稼働させる「録画カメラ」を設定。通常はCAM の番号と同じ番号に選びます。
- 【⑥】録画時間の値を設定します。
- 【⑦】最後に【OK】を選択し、設定を反映させます。

※必要に応じて他のカメラも設定したい場合は上記手順を行ってください。

モーション設定

CAM	<input type="text" value="1"/>	有効	<input checked="" type="checkbox"/>
感度	<input type="text" value="3"/>	エリア設定	<input type="button" value="設定"/>
時間帯	<input type="button" value="設定"/>	間隔	<input type="text" value="2"/> 秒
アラーム出力	<input type="text" value="1"/>	アラーム時間	<input type="text" value="10"/> 秒
録画カメラ	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/>		
画面ループ設定	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/>		
静止画保存	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/>		
PTZ連動	<input type="button" value="設定"/>	録画時間	<input type="text" value="10"/> 秒
メッセージ表示	<input type="checkbox"/>	E-Mail送信	<input type="checkbox"/>
内蔵ブザー	<input type="checkbox"/>	ログの記録	<input type="checkbox"/>
FTPアップロード	<input type="checkbox"/>	モバイル報告	<input type="checkbox"/>



モーション設定でカメラ番号を選択する際は「全」を選択すると「録画カメラ」のカメラ番号の設定が正しくできません。そのため、設定の際は必ずカメラ 1 台ずつ行ってください。

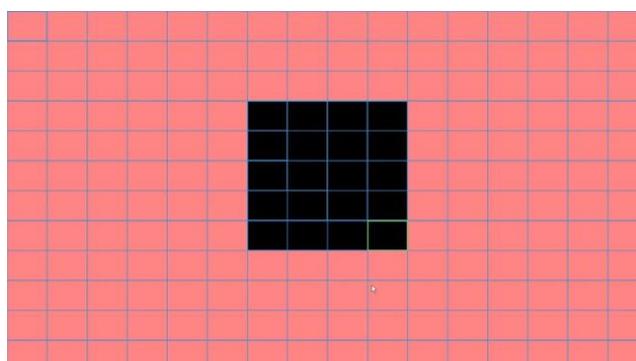
※モーション設定は人感センサーではありません。
よって車や葉っぱの揺らぎなどでも反応しますのでご注意ください。

モーション設定のオプションについて

モーション設定には動体検知と同時に録画を行うほかにメッセージを表示したり、必要な部分だけを検知するよう なエリアの設定等も設定ができるようになっています。

CAM	設定を行うカメラ番号
有効	モーション検知の有効の可否
感度	モーション検知の感度(値が大きいほど感度が高くなります)
エリア設定	検知範囲の設定 赤紫のフィルターで覆われている部分が検知エリアとなります
時間帯	モーション検知の作動時間のスケジュール設定
時間間隔	現在の検知が終了、次の検知監視までの時間間隔 0~600 秒の間で設定可能
アラーム出力/時間 PTZ 連動	この機能は使用できません
録画カメラ	モーション検知した際の撮影するカメラを指定
画面ループ設定	モーション検知した際、一定時間ごと画面を切り替える
録画時間	モーション検知した際の録画時間 この時間が 1 ファイル扱いとなります
メッセージ表示	モーション検知した際にウィンドにておしらせ
E-MAIL 送信	モーション検知した際に設定しているアドレスへメールを送信
内臓ブザー	この機能は使用できません
ログを書き込む	モーション検知した際にログ情報にログを書き込みます
FTP アップロード	この機能は使用できません

注記: エリア設定例 赤紫の部分が検知エリアになります。



4.1.3 スケジュール録画の設定

常時録画とモーション検知録画を併用したり、時間ごとに異なる録画方法を設定したい場合、日ごとにスケジュールを 4 まで設定できます。

良い例)

0 : 00 ~ 7 : 00 をモーション検知録画
7 : 00 ~ 17 : 00 を常時録画
17 : 00 ~ 24 : 00 をモーション検知録画

悪い例)

0 : 00 ~ 10 : 00 をモーション検知録画
7 : 00 ~ 17 : 00 を常時録画
17 : 00 ~ 24 : 00 をモーション検知録画

7 : 00 ~ 10 : 00 に重複があると正常な録画ができない場合があります。

■ スケジュールの設定方法

- 【①】設定を行いたいカメラ番号を選択します。
- 【②】スケジュール画面から設定録画にチェックをいれします。
- 【③】設定したい曜日の設定を行います。
- 【④】設定 1~4 で録画したい時間を設定し「常時」または「自動」の項目にチェックを入れます。
- 【⑤】最後に【OK】を選択し、設定を完了させます。

曜日	設定 1	設定 2	設定 3	設定 4
毎日	00:00 - 07:00	07:00 - 17:00	17:00 - 24:00	00:00 - 00:00
常時	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自動	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
警報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

スケジュール録画による時間設定における注意点

例) 18:00~4:00のように日をまたぐ常時録画を行いたい場合

スケジュール

CAM RAID

録画ファイル 分 事前録画 秒

録画モード 設定録画 マニュアル 録画しない

曜日 常時 自動 警報

設定	時間	常時	自動	警報
設定 1	18:00 - 04:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 2	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 3	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 4	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

メッセージ

開始時刻が終了時刻を超えないようにしてください。

これは 24 時で一度設定がリセットされるためです。そのため下記のように設定してください。

スケジュール

CAM RAID

録画ファイル 分 事前録画 秒

録画モード 設定録画 マニュアル 録画しない

曜日 常時 自動 警報

設定	時間	常時	自動	警報
設定 1	18:00 - 24:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 2	00:00 - 04:00	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 3	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
設定 4	00:00 - 24:00	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 設定を行う前に

【①】遠隔監視の設定を行う前に、必ず配線の確認をお願いします。インターネット環境を使用するため、本製品とルーターを有線 LAN ケーブル(カテゴリ5e 以上、ストレートタイプ)で接続します。



このようにランプが点灯及び点滅していれば準備完了です

【②】外部からの遠隔監視を検討の際は、お手持ちのルーターやモデムがポート開放できるかを確認してください。



ポケットWiFi等モバイルルーターには対応していません。



ポート開放ができない場合、パソコンによる外部からの遠隔監視はできません。ポート開放できるかできないかルーターのメーカーか販売店にご確認ください。



回線によっては IP アドレスの制限があるため、ルーターのポート開放ができないこともございます(例: CATV、集合住宅、VPN など)。

ネットワークの設定（レコーダー）

ネットワークを介してパソコンやスマートフォンからアクセスするにはゲートウェイ（ルーター）にレコーダーの存在を教えたり、ゲートウェイの IP アドレスをレコーダーに取得する必要があります。以下では、2 つの設定方法を紹介しします。使用したい環境に応じて、どちらかの方法で設定してください。

1. DHCP クライアント機能※による自動 IP 設定（初期はこちらの設定にしてあります）

メリット：ネットの知識が乏しくても設定がカンタン

デメリット1：ルーターとの相性などで LAN 内情報が反映されないことも

デメリット2：同一 LAN 内で機器多数の場合、IP アドレス無秩序になりやすい

おすすめ：かんたんに設定を行いたい方向け

2. 静的 IP による手動設定

メリット：同一 LAN 内の IP アドレス資源を有効活用可能

デメリット：ネットや PC の知識が必要になります

おすすめ：上記 1 でつながらない方、同一 LAN 内で機器が多い方向け



DHCP クライアント機能とは――

DHCP サーバ（またはルーター）から IP アドレスなどのネットワーク情報を、自動的に取得する機能です。この機能を有する機器であれば、ネットワーク内の情報をカンタンに一括取得できるので、プロバイダーやメーカーなどに確認せず、設定が楽になります。

ネット設定の基本画面

ネット設定

接続方法	有線LAN <input checked="" type="checkbox"/> DHCP
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 113
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
DNS1	192 . 168 . 1 . 1
DNS2	114 . 114 . 114 . 114
メディアポート	34567
HTTPポート	80
高速転送設定	<input type="checkbox"/>
転送基本	画質優先

[オプション](#)

OK キャンセル

ネットワーク

【接続方法】 有線 LAN

【IP アドレス】 IP アドレスを設定します。現地の環境に合わせて変更してください。

※工場出荷状態では DHCP にチェックマークが入っており、設置場所に合わせてルーターより自動的に適当な IP アドレスが振られるようになっています。

IP アドレスが振られていた際には DHCP のチェックマークを外しておくこと（固定化）をおすすめします。

【サブネットマスク】 サブネットマスクを設定します。初期は 255.255.255.0 です。

【ゲートウェイ】 デフォルトゲートウェイを設定します。初期は 192.168.1.1 です。

【DNS1/2】 ドメインネームサーバーです。これはドメイン名を IP アドレスに変換します。IP アドレスは、ネットワークプロバイダによって提供されます。アドレス設定後、再起動が必要です。

【メディアポート】 メディアポートの初期は 34567 です。

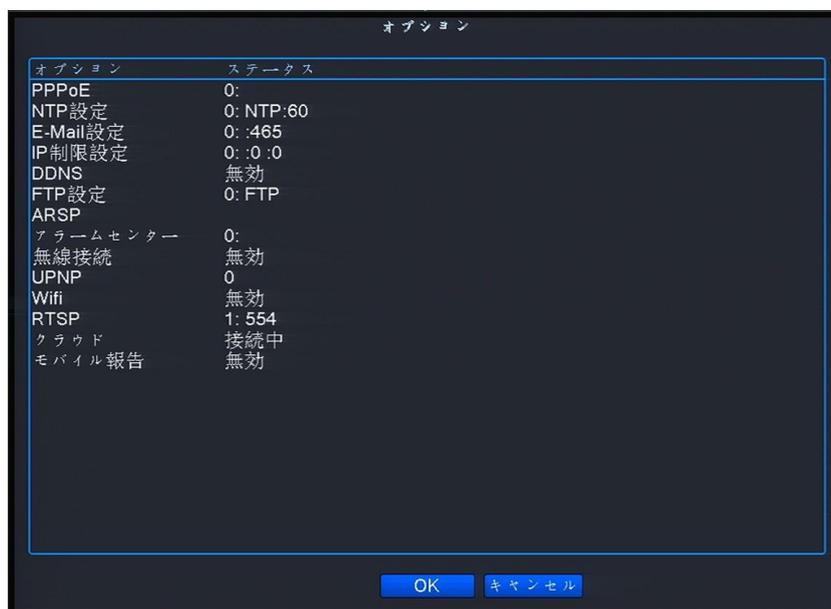
【HTTP ポート】 HTTP ポートの初期は 80 です。

【高速転送設定】 有効にすると、ネットワーク上のビデオファイルの速度を上げることができます。

※ネットワーク環境に依存するため必ずしも速度が上がるとは限りません。

【転送基本】 データ転送の優先順位設定には、「最適化」「画質優先」「動作優先」の 3 つがあります。設定に従ってコードストリームにより調整されます。

【オプション】PPPOE、電子メール、スマートフォンなどの高度なネットワーク機能を設定することができます。変更する際には各項目をダブルクリックします。



オプション画面

1、PPPoE セットアップ

PPPoE 機能を介してインターネット接続を行います。これには専用の PPPoE ダイアルアップネットワークが必要です(ブロードバンドルーターを使用する場合はこちらの機能は使用しません)。



PPPoE

【有効】 チェックを入れると、すべての設定項目が設定可能になります。

【ユーザー名, パスワード】 ISP (インターネットサービスプロバイダ) が提供するユーザー名とパスワードを入力します。保存したら、システムを再起動します。その後、DVR は PPPoE に基づいてネットワーク接続を構築します。上記の操作が成功すると、IP アドレスが動的 IP アドレスに変更されます。

再起動後 [IP アドレス] の枠に値が表示されていれば接続成功です。同時にこの値が DVR のアドレスとなるため、遠隔監視を行う際にはこの値へアクセスを行います。

2、NTP セットアップ

NTP 機能により、DVR は設定された時間間隔で指定されたタイムサーバーと同期します。

NTP設定

有効

カスタム 自動

サーバーIP

ポート

周期更新 分

OK キャンセル

NTP 設定

【有効】 チェックボックスを選択すると、すべての設定項目が設定可能になります。

【カスタム/自動】 カスタムなら手動設定、もしくは自動よりサーバーと時間を同期します。

【サーバーIP】 Windows システムのコンピュータをタイムサーバーとして使用する場合は、タイムサーバーのIPアドレスを入力し、NTPサーバー機能を有効に設定してください。てください。

【ポート】 デフォルトは 123 です。NTPサーバーに合わせてポートを設定できます。

【周期更新】 NTPサーバーをチェックする間隔です。初期値は60分です。

3、E-MAIL セットアップ

アラームがオンになっている場合、または、アラーム連動の写真が撮影されている場合は、アラーム情報と写真を指定されたメールアドレスにメール送信します。

E-Mail設定

有効

SMTP

ポート

暗号化

ユーザー名

パスワード

送信アドレス

受信者

タイトル

テスト送信 OK キャンセル

E-MAIL 設定

【有効】 チェックを入れるとメール機能の有効化および以下必要事項を入力できるようになります。

【SMTP】 メールサーバーアドレス(SMTP サーバーアドレス)を入力します。

【ポート】 メールサーバーのポート番号を入力します。

【暗号化】 SSL(Secure Socket Layer)プロトコルを使用するかどうかを設定します。

【ユーザー名】 メールサーバーのユーザー名を入力します。

【パスワード】 パスワードを入力します。

【送信アドレス】 送信元のメールアドレスを設定します。

【受信者】 受信先のメールアドレスを設定します。最大 3 アドレスを設定できます。

【タイトル】 メールタイトルを自由に設定できます。

【テスト送信】 情報を入力した後、メールテストボタンをクリックするとネットワークテストを行います。テスト成功の場合、受信ボックスに送信されたテストメールが保存されます。テスト失敗の場合、設定情報とネットワーク状態が正常であることを確認してください。

4、IP 制限設定

IP 制限機能を設定することにより、ネットワークを介してアクセスする IP アドレスを制限できます。

ホワイトリストを選択すると、リストされた IP アドレスだけがDVR に接続できます。ホワイトリストには最大 64 まで IP アドレス指定が可能です。

ブラックリストを選択すると、リストされた IP アドレスはDVR に接続できません。ブラックリストには最大 64 まで IP アドレス指定が可能です。

注記：同じ IP アドレスがホワイトリストとブラックリストに同時にあるときには、ブラックリストが優先されます。

IP制限設定

有効

制限種類 ブラックリスト

0 . 0 . 0 . 0 追加

IPアドレス	制限内容
0	使用禁止のIP

削除 OK キャンセル

IP フィルター設定

【制限種類】 ドロップダウンメニューより、ホワイトまたはブラックリストを選択します。

【追加】 IP アドレスを IP アドレス欄に入力した後、[追加]ボタンを押しリストに追加します。

【削除】 リストのIP アドレスを選択し、[削除]をクリックすると、IP アドレスがリストから削除されます。

4.1.4 日付と時間



時刻設定

時間帯 [UTC+09:00]大阪、札幌、ソ

時刻設定 2019-02-07 15:34:06

日付表示方式 YYYY MM D

区切り文字 -

時刻書式 24時間

サマータイム

初期設定に戻す OK キャンセル

【時間帯】 DVR のシステム時間のタイムゾーンを設定します。

【時刻設定】 DVR のシステム時間を設定します。

【日付表示方式】 DVR のシステム時間の形式を設定します【時刻書式】プレビュー画面の時間表示を 12 時間表示または 24 時間表示に設定します。

【サマータイム】 サマータイム設定の有効無効を設定します。日本では使用しない機能になります。



時刻設定

時間帯 [UTC+09:00]大阪、札幌、ソ

時刻設定 2019-02-07 15:38:01

日付表示方式 YYYY MM D

区切り文字 -

時刻書式 24時間

サマータイム

週 日付

開始: 2019-05-01 01:01

終了: 2019-10-01 01:01

初期設定に戻す OK キャンセル

4.2 システム

基本項目、エンコード(ハイブリッド/フルアナログモード)、バックアップ、出力モード、ユーザー管理、シリアル設定、PTZ 設定/ RS485 デバイス、チャンネル管理、IPC パラメーターなどのシステムパラメータを設定します。

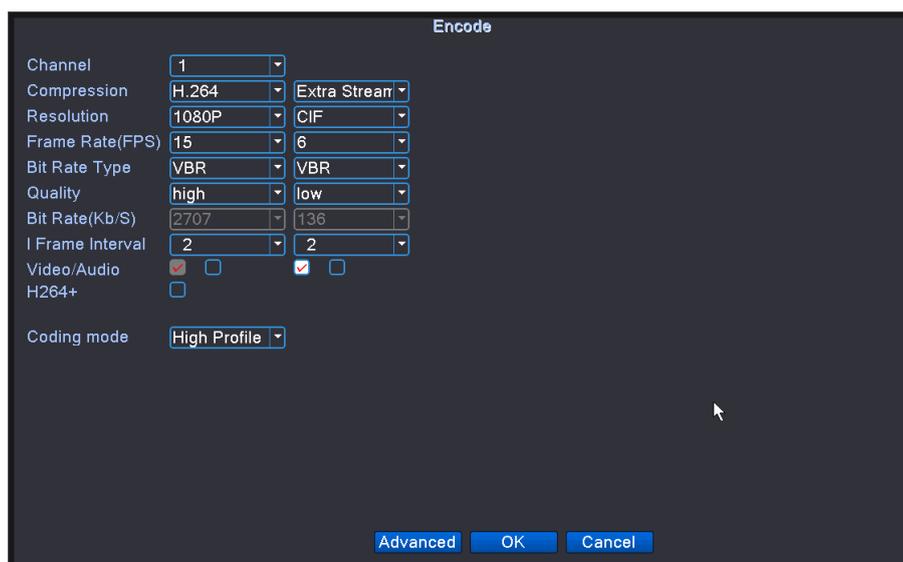
4.2.1 基本設定

一般設定

デバイス名	レコーダーの名前を変更します
DVR 番号	レコーダーの番号を変更します
言語選択	現在、28か国言語がサポートされています
ビデオ規格	NTSC/PAL ※通常はNTSC を使用してください。
上書き設定	ハードディスク容量がいっぱいになった時の動作を設定します 上書き禁止: ハードディスクがいっぱいになると録画を停止します 上書き: ハードディスクがいっぱいになると、最も古い録画ファイルを上書きし、録画を続行します
自動ログアウト	設定時間後に自動でログアウトします
スタートアップウィザード	起動ウィザードの有効無効を設定します

4.2.2 録画画質

エンコード設定機能は、アナログチャンネルに対してのみ有効です。
ネットワーク帯域幅に応じてストリームのフォーマットを選択でき、低ビットストリームネットワーク伝送を実現できます。サブストリームは主に、悪いネットワーク環境でのモバイルでのリアルタイム・マルチチャンネル監視に使用されます。



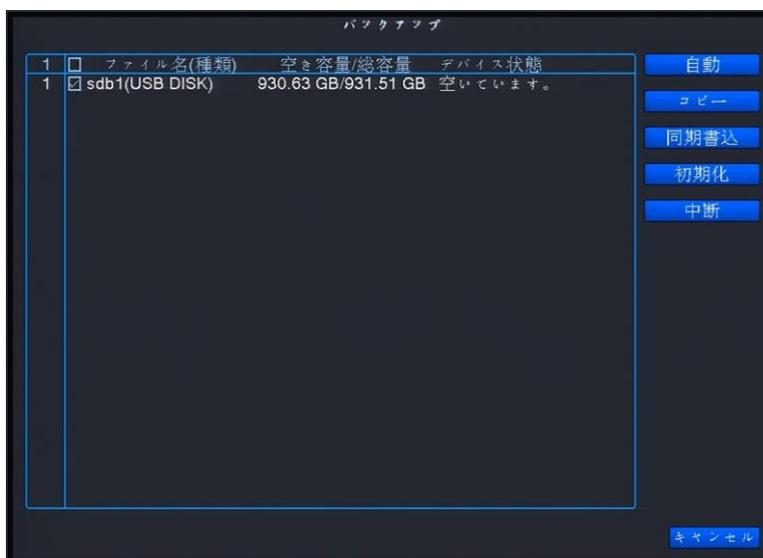
エンコード設定

CAM	設定を行うカメラ番号を選択
圧縮方式	H.264
解像度	値の大きいものほど高解像度となり、HDD の必要容量が増える
フレームレート	アニメの 1 秒間あたりのコマ(フレーム) 数に相当する 値が大きいほど映像は滑らかになる
ビットレート	エンコード方式を設定します
画質	値の大きいものほど高画質になります
転送量	ビットレートを CBR に設定した際の転送量を設定します。
1 フレーム間隔	遠隔監視をした際の映像の表示速度に影響します
映像/音声	録画や遠隔監視をする際の映像および音声の ON-OFF 集音マイク等を使用する場合、音声にチェックを入れないと録音・送信されません※集音マイクを別途用意する必要があります。
H264+	動作がないシーンではストリームがさらに圧縮され、保存ディスク領域が節約されます。

4.2.3 バックアップ

セットアップを介して録画ファイルを外部ストレージへバックアップすることができます。

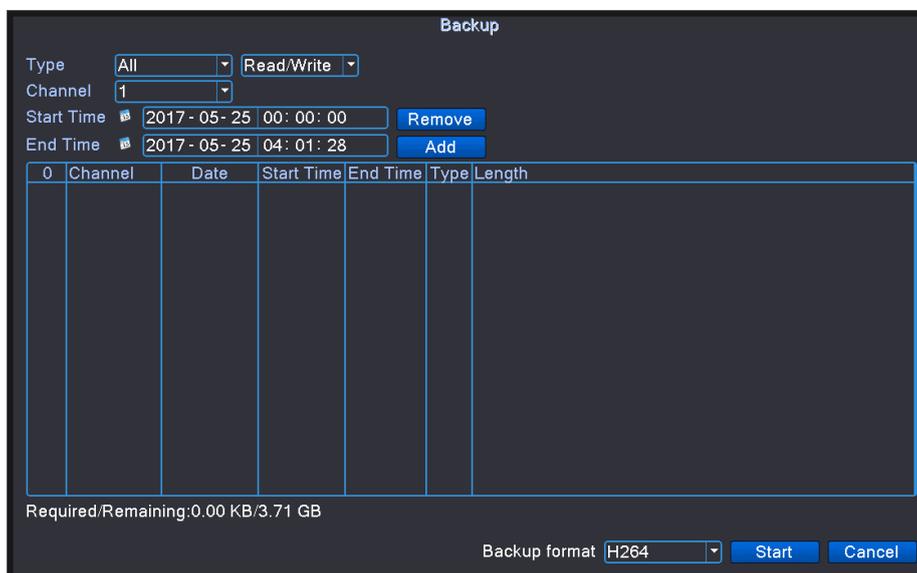
注記：ストレージはファイルバックアップの前に接続してください。



ストレージの検出

【自動】 外付けハードディスクや USB メモリなど、DVR に接続されたストレージを検出します。

【コピー】 コピーボタンをクリックすると、ダイアログボックスが表示され、バックアップするファイルをタイプ、チャンネル、時間に応じて選択できます。



バックアップ

CAM	ドロップダウンメニューからバックアップするファイルのチャンネル番号を選択します
追加	設定したファイル属性を満たすファイル情報を表示します
バックアップ形式	バックアップするファイルのフォーマットをH26X、AVI、MP4 に設定します
開始/中断	バックアップを開始するにはスタートボタンをクリックし、バックアップを停止するには停止ボタンをクリックします

同期書込

外付けHDD をバックアップのためではなく、通常のように録画させる機能です。
※本機能はサポート対象外です。



同期書込

【CAM】 書き込みを行うチャンネルを選択します。

【同期書込】 クリックするとファイルを同期してストレージに書き込みます。

【キャンセル】 書き込みを終了します。

※すべてのチャンネルを同期書込することはできません。ひとつのチャンネルのみとなります。

4.2.4 出力（画面設定）

メイン画面に表示する項目と録画データの再生時に表示する項目の設定。

■ デスクトップショートカット > 「メニュー」 > 「システム」 > 「出力」

画面中央の区切り線より上はメイン画面、区切り線より下は録画再生時画面の項目です。



出力

CAM番号	各チャンネルの番号を任意に「設定」より変更可能
時刻表示	時刻表示のON-OFF切り替え
CAMタイトル	カメラ番号表示のON-OFF切り替え
録画状態	録画状態表示のON-OFF切り替え
デフリッカー	フリッカー現象が起こる場合、チェックを入れると軽減
透明度	メニュー表示画面など透明度の設定
解像度	モニター解像度の設定
ループ表示	※次ページに説明を記載

■ 録画データの再生時画面項目について

CAM	設定をしたいCAMの選択項目
マスキング	画面上非表示にしたい箇所を設定する項目
時刻表示	時刻表示のON-OFFの項目設定
CAMタイトル	カメラ番号表示のON-OFFの設定項目

■ マスキングについて

プライバシーの関係より映像を映せない場所や非表示したい部分がある場合、任意で指定の 範囲を最大 4 か所まで非表示に設定できます。これによりカメラの位置や画角を変更することなく、映像を録画することができます。マスキングの範囲は、任意のサイズに変更可能です。

ループ表示

ループ設定は、一定の間隔ごとにカメラ映像の画面が自動的に切替る設定です。ループ設定を有効にした場合、メイン画面の表示がフルスクリーン(一画面表示)に切り替わり、設定をした時間間隔(秒)でメイン画面が順番に切り替わります。



ループ表示

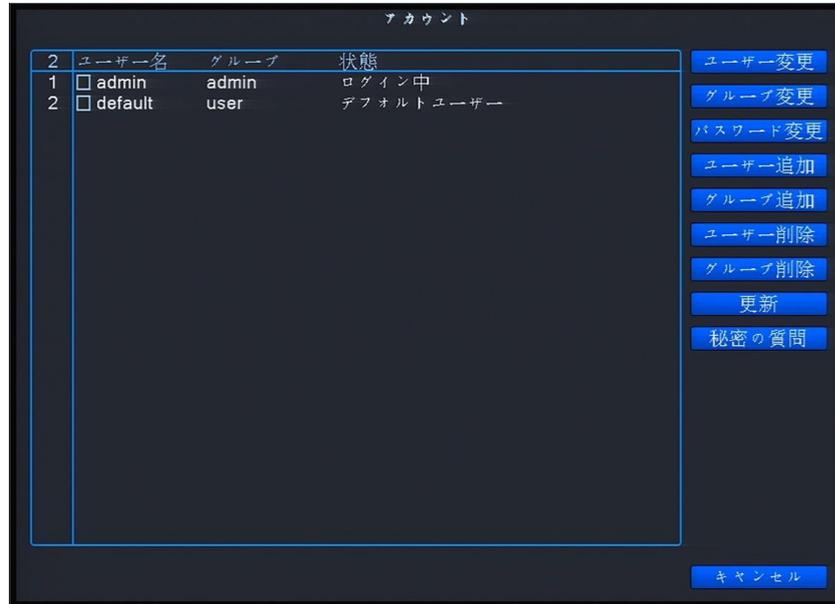
■ 設定方法

- 【①】有効にチェックを入れます。
- 【②】時間間隔に切り替えたい秒数を入力します。(5～120 秒設定可)
- 【③】1画面表示に設定したいカメラの番号を選択します。画像は 1～4 を選択。
- 【④】最後に【OK】し設定を反映させます。

4.2.5 アカウント

管理者(admin)はユーザーの作成・編集・削除をすることができます。作成したアカウントには権限の制限を設定することもできます。ユーザーごとのパスワードも設定できるので、多数の人が使用する時に有効です。

■ デスクトップショートカット > 「メインメニュー」 > 「システム」 > 「アカウント」



アカウント

ユーザーの追加・編集

新たにユーザーを追加する際や既存のユーザー情報を変える時は「ユーザー変更」若しくは「ユーザー追加」を選択します。各項目にユーザー名・パスワードを入力し、グループを選択します。次に必要な権限にチェックを入れ、最後に【OK】を選択します。

※メモは任意で入力します。作成したユーザーには各々グループごとに権限を持たせることができます。

ユーザーの削除

作成したユーザーを削除することができます。

削除したいユーザー名にチェックを入れ、「ユーザー削除」を選択します。

権限の管理とグループの作成・削除

管理者(Admin)は作成したユーザーアカウントのグループごとにレコーダーの設定・操作について制限をかけたり、設定・操作についての権限を与えることができます。また同じ権限のグループでもユーザーごとに権限の設定を行うことで、各ユーザーごとに権限を設定することができます。各権限の項目については下記を参照ください。

グループの作成 新たにグループを作成するときは【グループ追加】を選択します。次にグループ名を入力し、必要な権限にチェックを入れ、【OK】を選択します。

グループの変更 グループの内容を編集するときは、【グループ変更】を選択し、内容を変更後に【OK】を選択します。

グループの削除 不要なグループについては「グループ削除」を選択します。削除したいグループを

選択し、最後に「削除」を選択します。

※グループの削除を行う場合は、削除したいグループに登録してあるユーザーを削除する、若しくは違うグループに移動させておく必要があります。

権限	説明
電源 OFF	シャットダウン・再起動の使用権限
CAM タイトル	カメラ名の編集権限
スケジュール	スケジュール設定・変更の権限
録画バックアップ	録画データのバックアップ機能の使用権限
HDD 管理	ハードディスクの管理機能の使用権限
アカウント管理	アカウント管理の権限
システム情報検索	ログ情報の確認やバージョン情報など機器に関する情報閲覧の権限
ログ情報検索	ログ情報の検索機能の使用権限
ログ削除	ログ情報の削除機能の使用権限
アップデート	アップデート機能の使用権限
自動メンテナンス	自動保全機能の使用権限
基本設定	基本設定の変更・設定の権限
ラウンドロビン スポットセット	ループ表示機能の使用権限
出力調整	表示解像度や画面表示の使用権限
録画設定	録画機能の使用権限
シリアルポート設定	シリアルポートの設定・変更の権限
ネット設定	ネットワークの設定・変更の権限
アラーム設定	アラーム入力の設定・変更の権限
モーション設定	モーション設定の設定・変更の権限
PTZ 設定	PTZ カメラの設定・変更の権限
PTZ コントロール	PTZ カメラのコントロールパネルの使用権限
初期化	初期化機能の使用権限
音声	音声機能の使用権限
チャンネル管理	カメラ規格適用チャンネルの管理権限
インポート/輸出	レコーダー各種設定のバックアップ権限
モニター n	モニターチャンネル 1～16 のチャンネル閲覧の権限
リプレイ n	再生チャンネル 1～16 のチャンネル閲覧の権限

3、パスワード変更

ユーザーのログインパスワードを変更します。

【パスワード変更】 ユーザーアカウントのパスワードの変更をします。

備考: ユーザーアカウント管理権限を持つユーザーは、自分のパスワードを変更することができます。また、他のユーザーのパスワードも変更できます。



パスワード変更

【ユーザー名】 ドロップダウンメニューをクリックすると、パスワードを変更できるユーザーが表示され、そこからユーザーを選択します。

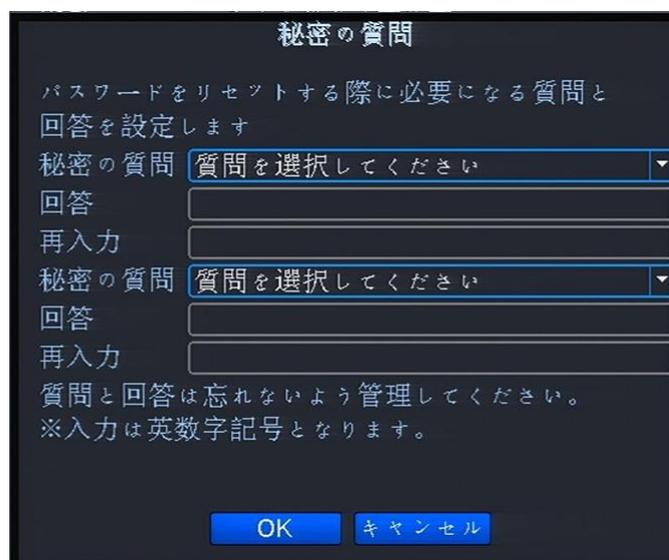
【現在のパスワード】 元のログインパスワードを入力します。

【新しいパスワード】 新しいパスワードを入力します。

【再確認】 新しいパスワードをもう一度入力します。

8、秘密の質問

次の画面のように、1つまたは2つの異なるセキュリティ質問を選択し、回答を記入して正しい回答を入力します。パスワードを忘れた場合は、秘密の質問に回答しパスワードをリセットしてください。



4.3 管理ツール

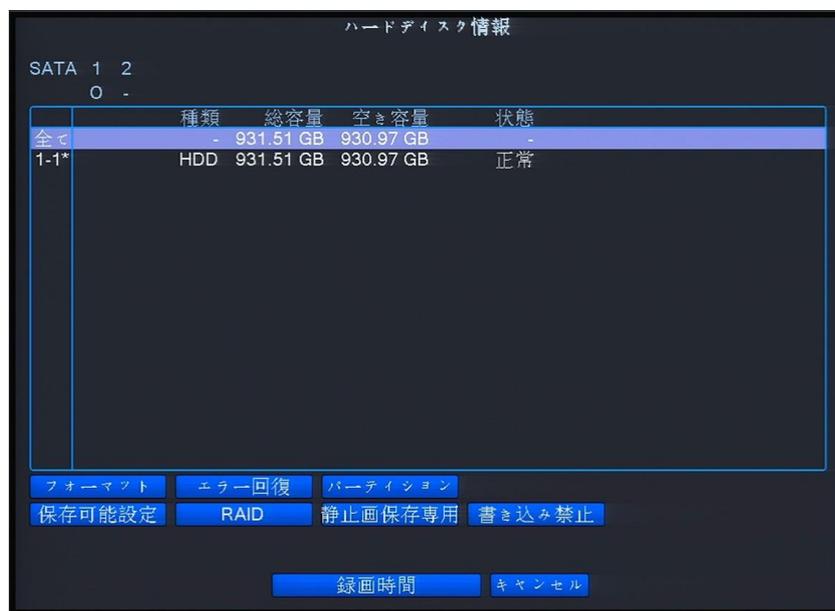
管理ツールは、ハードディスクのフォーマットやアカウントの権限設定など、レコーダー管理の設定ができます。

■デスクトップショートカット > 「メインメニュー」 > 「管理ツール」 > 「アカウント」

管理ツール

4.3.1 HDD（ハードディスク情報）

ハードディスクの管理画面です。ここではハードディスク情報の確認、フォーマットやエラーの修復・保存についての設定など行うことができます。



ハードディスク情報

フォーマット	フォーマットを行います(初期化)
エラー回復	ハードディスクの状態が「エラー」になった際に使用します。 ※必ずしも回復するというものではありません。
パーティション	ハードディスクに静止画保存用のパーティションを作成します。 ※実行するとハードディスクがフォーマットされますのでご注意ください。
保存可能設定	パーティションを選択し読み書き可能にする設定を行います。
RAID	こちらの機能はご使用いただけません。
静止画保存専用	こちらの機能はご使用いただけません。
書き込み禁止	パーティションを選択し書き込み禁止にする設定を行います。

4.3.2 自動メンテナンス

レコーダーは機器の用途上、常に起動している状態です。使用環境によっては、機器の定期的な再起動を行う必要があります。また、ハードディスクの上書き機能を使用しない場合、録画データが蓄積され録画が行えなくなることもあります。そうした場合、あらかじめ設定した期間にレコーダーの再起動や古い録画データの削除を自動的に行う機能が自動保全(メンテナンス)です



自動メンテナンス

■ 設定方法

■ デスクトップショートカット > 「メインメニュー」 > 「管理ツール」 > 「自動メンテナンス」

【①】システムの自動起動に毎週再起動を行う曜日を設定します。

【②】ファイルの自動削除に、どの期間のキャッシュを削除するかを設定をします。

(1~255 日以前、設定可能)

4.3.3 初期化

レコーダーの全ての設定、または一部の設定を工場出荷時に戻す機能です。なお、当社出荷時には利用者のお手元に届いた時に、すぐにお使いいただけるように設定変更しており、初期化するとそれらも工場出荷前に戻りますのでご注意ください。

■ デスクトップショートカット > 「メインメニュー」 > 「管理ツール」 > 「初期化」

【①】初期化を行いたい項目にチェックを入れ、最後の【OK】を選択し初期化を行います。
※全項目の初期化を行う場合【全部選択】にチェックを入れてください。

4.3.4 アップグレード

アップグレード

アップグレード場所

ファイル名 実行

オンラインアップグレード

最新バージョンを確認

最新のアップデート

重要な更新は自動的にアップグレードする

カメラのアップグレード

1 2 3 4 全て

アップグレード場所 実行

ファイル名 キャンセル

システムアップグレード

レコーダーのバージョンをアップグレードする時に使用します。

USB ポートを介して行うため、あらかじめアップグレードデータを USB フラッシュメモリ等に移しておく必要があります。アップグレード方法はデバイスとファイルを選択し「実行」を選択するとアップグレードが始まります。

※弊社サイトで表記がない限り、通常はアップグレードデータの配布はございません。

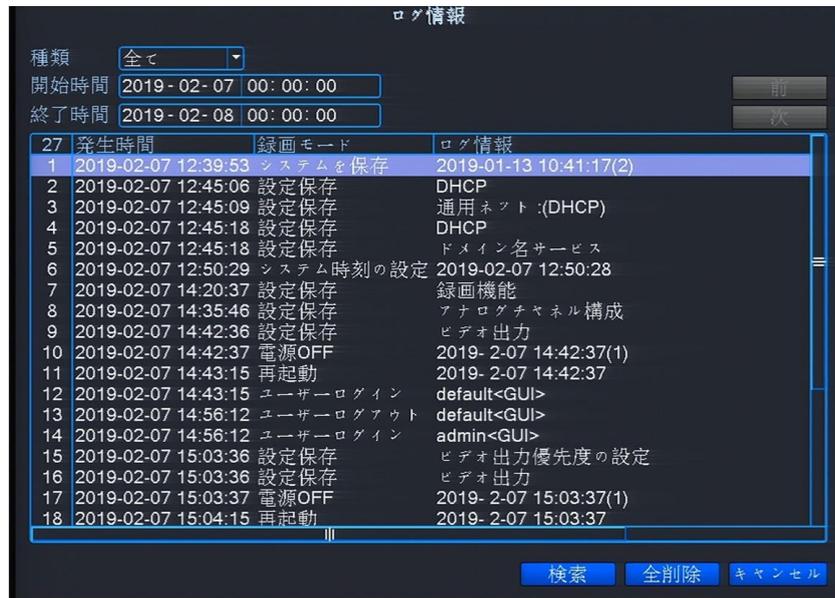
注記: アップグレードプロセス中は電源を切らないでください。致命的な故障となる可能性があります。アップグレードが失敗した場合は、アップグレードプログラムが製品モデルと一致しているかどうかを確認してください。

4.3.5 インポート/エクスポート

ユーザーはデバイスから USB メモリにログ情報と設定ファイルをエクスポートすることができます。同様に、USB メモリから設定ファイルをインポートすることもできます。これによりデバイスの設定が簡単になります。

4.3.6 ログ情報

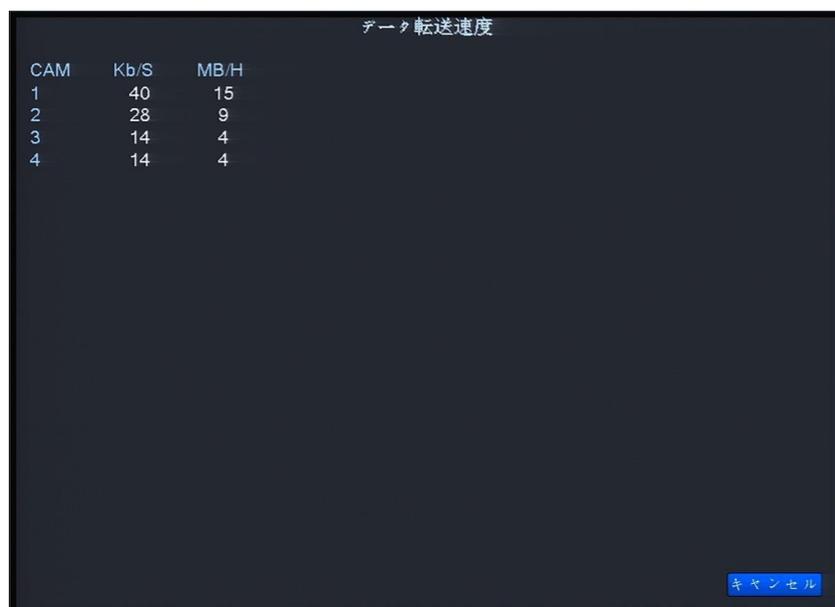
操作やログイン情報、設定情報などログを閲覧することができます。



ログ情報

4.3.7 データ転送速度

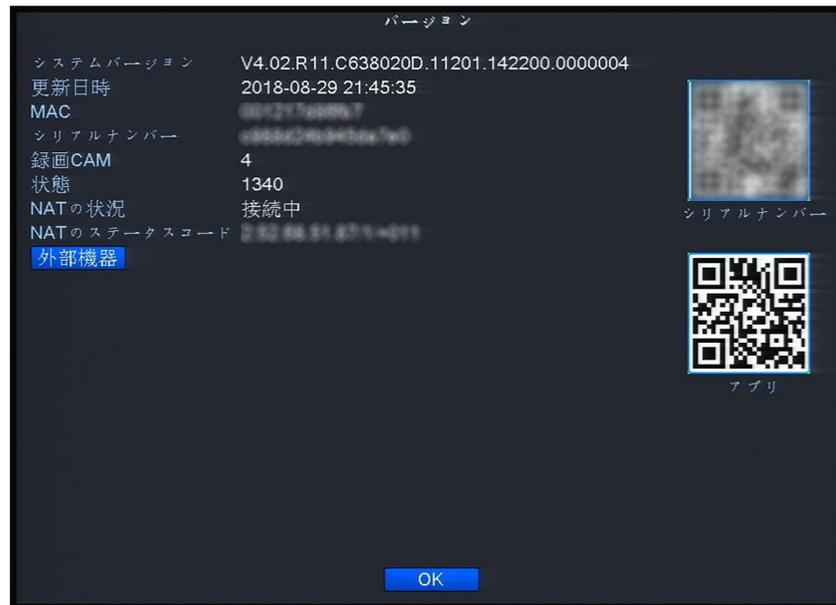
ストリーム(Kb/S)とハードディスク使用速度(MB/h)をリアルタイムで表示します。



データ転送速度

4.3.8 バージョン

レコーダーのシステムバージョン、シリアルナンバーや MAC アドレス、NAT 状態などを表示します。



バージョン情報

4 遠隔監視の設定と使い方

パソコンでの遠隔監視

※PCでの遠隔監視は非対応です。スマートフォンのみ対応になります。

アプリのダウンロードとシリアルナンバーの用意

アプリのインストールやシリアル番号の確認方法は下記となります。

【①】マウスを右クリックし、メニューバーを表示し「スタートアップウィザード」を選択します。



【②】画面を進めていくと、下画が表示されます。



まずスマートフォンで遠隔監視するためのアプリをインストールします。

お使いのスマートフォンでQRコードを読み込んで「XMeye」アプリをインストールしてください。

※QRコードの取り込み方が分からない方は、ご使用のキャリアなどにご確認ください。

【③】画面はそのままにしておき、スマートフォンの操作に移ります。

このアプリでの遠隔監視の場合は3G モジュール等の外部電波環境によりますので映像が安定しない場合もございます。あらかじめご了承ください。



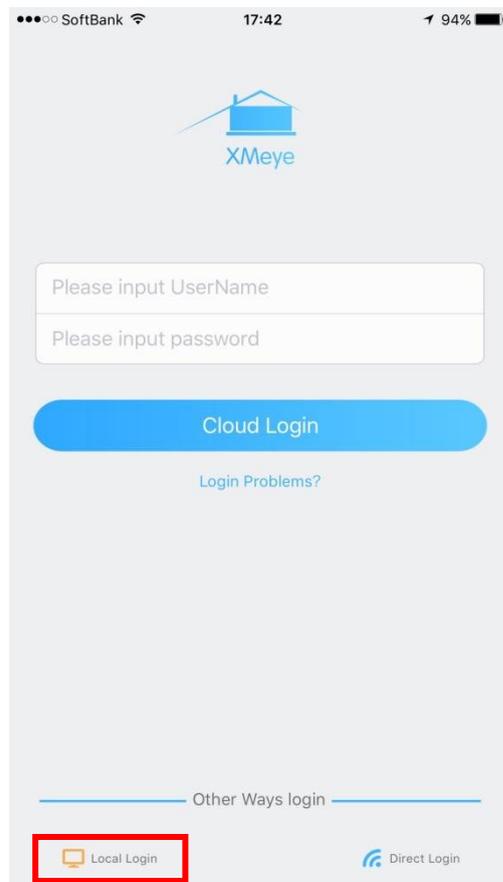
■ アプリのQRコードが読取れない、動かない時は

iOS は AppStore、Android は Play ストアで、それぞれ「**XMeye**」を検索してインストールしてください。

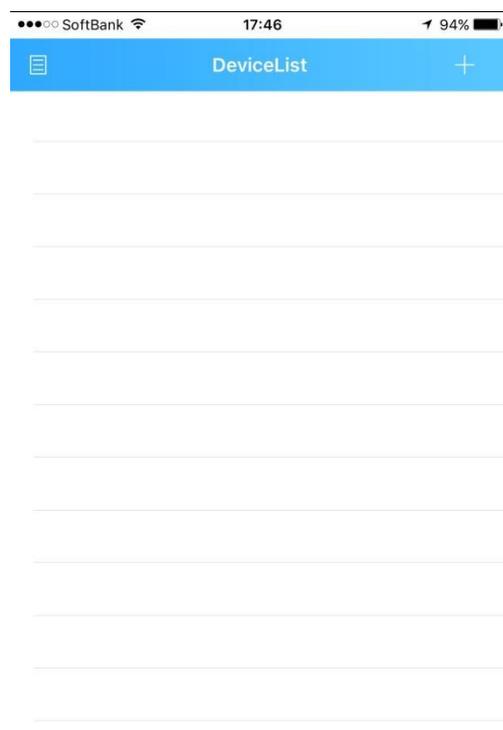
すでにインストール済みの時は、アプリを削除してから再インストールを行います（アプリの削除方法はキャリアにお問い合わせください）。

【iPhone の場合】※バージョンにより表記が異なる場合があります

【③】ダウンロードしたアプリを起動させ、「Local Login」を選択します。



【④】次に「DeviceList」の画面に切り替わりますので画面上方にある【+】を選択して新たにリストを作成します。



【③】赤枠①のように「手動で追加する」を選択し赤枠②を選択しリストの作成画面を立ち上げます。



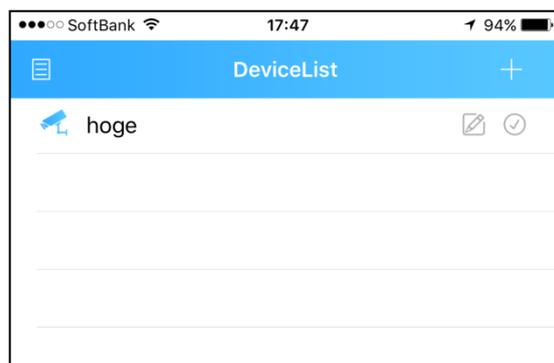
【④】シリアル番号取得後、各リストの項目を入力し「OK」を選択しリストを保存します。
 Android の場合【上級】にチェックを入れるとユーザー名/パスワード入力枠が表示されます。



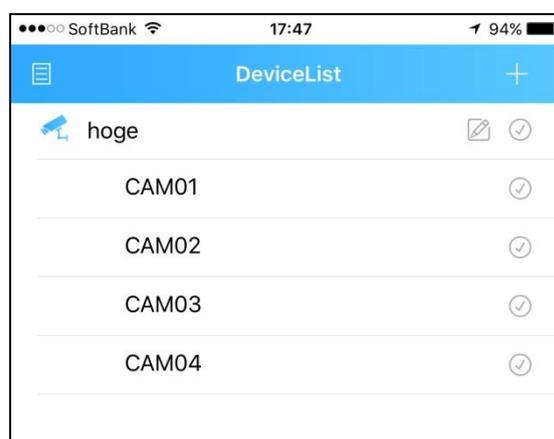
デバイス名	リストの名前になります。任意でつけます。【必須】
シリアル番号	DVR に割り振られたシリアル番号となります。QR コードでシリアル番号を取得、または入力してください。【必須】
admin	管理者の場合は「admin」を入力します。【必須】
パスワード	DVR に設定しているパスワード入力します。 (初期設定では設定されていません。)
DDNS	通常使用しません。

※必ず、デバイス名以外の項目は半角で入力して下さい。

【⑤】Device List(設備リスト)に戻ります。

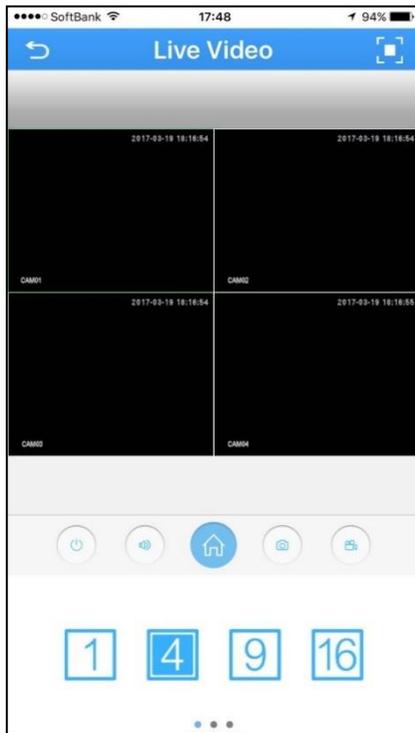


【⑥】作成したDVR の名前が表示されるので、タップするとカメラ番号が表示されます。



【⑦】さらにカメラ番号をタップすると映像が表示されます。

1 画面表示したい場合は、表示したいカメラ映像をダブルタップします。

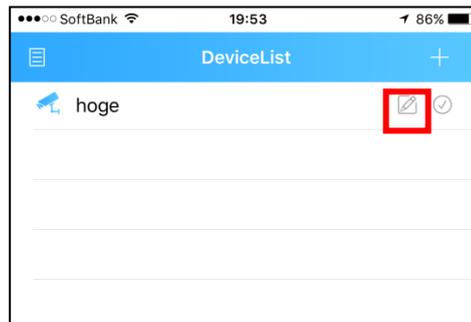


スマートフォンアプリの設定

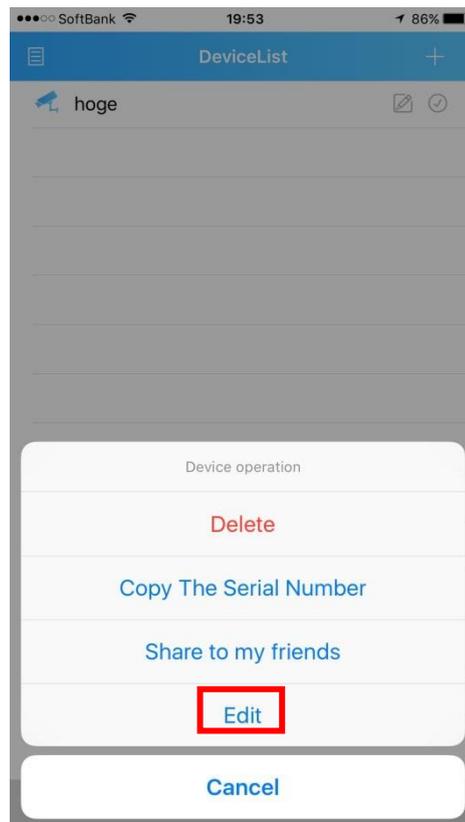
作成したDevice のデータを修正する方法です。

下記からの左図はiOS、右図は Android を示しています。

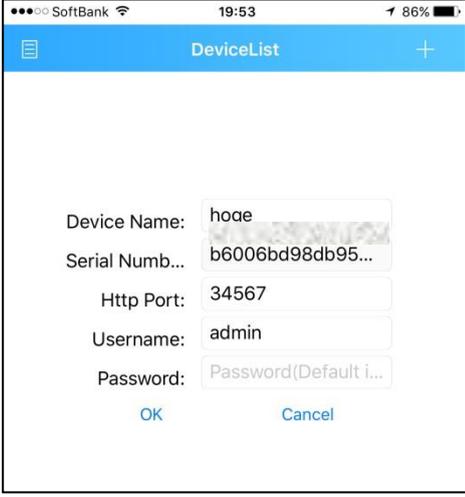
【**◎**】Device List(設備リスト)内の作成したDevice 右のアイコンをタップします。



【**◎**】Edit をタップします。



【③】必要な項目を修正したら、OK をタップで保存されます。



The screenshot shows a mobile application interface titled "DeviceList". The status bar at the top indicates "SoftBank", the time "19:53", and "86%" battery. The interface contains a form with the following fields:

Device Name:	hoce
Serial Numb...:	b6006bd98db95...
Http Port:	34567
Username:	admin
Password:	Password(Default i...

At the bottom of the form, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

6 FAQ とメンテナンス

6.1 FAQ

下記にない問題の場合は、ローカルサービスに連絡するか、本社メールまたは電話にてご連絡ください。

- 1、 **DVR が正常に起動しない。**
考えられる原因は以下のとおりです。
 - 1 電源が正しくない。
 - 2 電源ラインのスイッチが正常に接続されていない。
 - 3 スイッチング電源が故障している。
 - 4 プログラムの更新が間違っている。
 - 5 ハードディスクが破損しているか、ハードディスク接続ケーブルが破損している。
 - 6 前面パネルが故障している。
 - 7 DVR のメインボードが故障している。
- 2、 **DVR が自動的に再起動する、または、起動後数分で停止する。**
考えられる原因は以下のとおりです。
 - 1 入力電圧が安定していない、または低い。
 - 2 ハードディスクが破損しているか、ハードディスク接続ケーブルが破損している。
 - 3 スイッチング電源の電力が低い。
 - 4 ビデオ信号が安定していない。
 - 5 DVR の放熱が不十分、または埃が多いなどの動作環境が悪い。
 - 6 DVR のハードウェアが故障している。
- 3、 **システムがハードディスクを検出できない**
考えられる原因は以下のとおりです。
 - 1 ハードディスクの電源ラインが接続されていない。
 - 2 ハードディスクのケーブルが損傷している。
 - 3 ハードディスクが故障している。
 - 4 メインボードの SATA ポートが故障している。
- 4、 **シングルチャンネル、複数チャンネル、全チャンネルのビデオ出力がありません。**
考えられる原因は以下のとおりです。
 - 1 プログラムが一致していない。プログラムを更新してください。
 - 2 画像の明るさがすべて 0 になっています。デフォルトの設定に戻してください。
 - 3 ビデオ入力信号がないか、信号が弱すぎる。
 - 4 チャンネル保護または画面保護が設定されている。
 - 5 DVR のハードウェアが故障している。
- 5、 **画像の色や明るさ、歪みなどのリアルタイム画像に問題があります。**

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 BNC 出力を使用する場合、N モードまたは PAL モードの設定オプションが間違っていると、画像が白黒になります。
- 2 DVR がモニターのインピーダンスと一致していない。
- 3 ビデオ伝送距離が長すぎるか、ビデオ伝送ラインの損失が大きい。
- 4 DVR の色と明るさの設定が間違っている。

6、 ローカル再生モードでビデオファイルを見つけることができません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 ハードディスクのデータケーブルが損傷している。
- 2 ハードディスクが破損している。
- 3 プログラムファイルを異なるプログラムで更新している。
- 4 参照しようとするビデオファイルが上書きされている。
- 5 録画がされていない。

7、 ローカルビデオが鮮明ではありません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 画像品質の設定が悪い。
- 2 プログラムの読み込みに失敗している。DVR を再起動してください。
- 3 ハードディスクのデータが壊れている。
- 4 ハードディスクに損傷がある。
- 5 DVR のハードウェアが故障している。

8、 監視ウィンドウに音声信号がありません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 トーンアームがアクティブでない。
- 2 サウンドボックスがアクティブでない。
- 3 音声信号ラインが破損している。
- 4 DVR のハードウェアが故障している。

9、 監視ウィンドウには音声信号がありますが、再生状態に音声信号がありません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 設定の問題: 音声オプションが選択されていない。
- 2 対応するチャンネルがビデオ接続されていない。

10、 時間が正しくありません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 設定が正しくない。
- 2 電池の状態が悪い、または電圧が低い。
- 3 クロック部品が壊れている。

11、 DVR が PTZ コントロールできません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 PTZ に問題がある。
- 2 PTZ デコーダーの設定、接続、またはインストールが正しくない。

- 3 接続が正しくない。
 - 4 DVR のPTZ 設定が正しくない。
 - 5 PTZ デコーダーとDVR のプロトコルが一致していない。
 - 6 PTZ デコーダーとDVR のアドレスが一致していない。
 - 7 複数のデコーダーが接続されている場合、PTZ デコーダラインA(B)の終端ポートは反射を減らすために 120 オームの抵抗を接続する必要があります。これが無い場合、PTZコントロールは不安定になります。
 - 8 距離が遠すぎる。
- 12、 **モーション検知が動作しません。**
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 時間領域が正しく設定されていない。
 - 2 モーション検出エリアが正しく設定されていない。
 - 3 感度設定が低すぎる。
 - 4 この機能をハードウェアがサポートしていない。
- 13、 **Web または CMS 経由でログインできません。**
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 システムがWindows 98 / ME はサポートされていません。Windows2000 SP4 以降にアップデートすることを推奨します。
 - 2 ActiveX がインストールされていない。
 - 3 バージョンが DX8.1 以上ではない。ディスプレイカードドライバを更新してください。
 - 4 ネットワーク接続に失敗している。
 - 5 ネットワーク設定に問題があります。
 - 6 パスワードまたはユーザー名が無効です。
 - 7 CMS がDVR プログラムのバージョンと一致していない。
- 14、 **ネットワークプレビュー状態またはビデオファイル再生状態で画像が不鮮明、または、画像がありません。**
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 ネットワークが安定していない。
 - 2 ユーザーマシンのリソースが制限されている。
 - 3 DVR のネットワーク設定でチーム再生プレイモードを選択している。
 - 4 リージョンシールドまたはチャンネル保護が設定されている。
 - 5 ユーザーに監視権限がない。
 - 6 ハードディスク録画装置自体のリアルタイムイメージが鮮明でない。
- 15、 **ネットワーク接続が不安定です。**
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 ネットワークが不安定です。
 - 2 IP アドレスが重複している。
 - 3 MAC アドレスが重複している。

- 4 DVR のネットワークカードが故障している。
- 16、 USB バックアップまたは CD-R 書き込みバックアップがうまくいきません。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 リライタブル機器とハードディスクが同じデータケーブルを共有している。
 - 2 データ量が多すぎる。録画とバックアップを停止してください。
 - 3 データがバックアップストレージの容量を超えている
 - 4 バックアップ機器に対応していない。
 - 5 バックアップ機器が故障している。
- 17、 キーボードで DVR を制御できません。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 DVR のシリアルポートが正しく設定されていない。
 - 2 アドレスが正しくない。
 - 3 複数のトランスが接続されている場合は、電源が十分ではありません。各トランスに個々の電源を供給してください。
 - 4 距離が遠すぎる。
- 18、 アラームが発生しません。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 アラーム設定が正しくない。
 - 2 アラーム出力が手動オンになっている。
 - 3 入力装置が故障している、または正しく接続されていない。
 - 4 特定のプログラムバージョンに問題がある。プログラムを更新してください。
- 19、 アラームが動作しません。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 アラーム設定が正しくない。
 - 2 アラーム接続が正しくない。
 - 3 アラーム入力信号が正しくない。
 - 4 アラームが2つのループに同期して接続されている。
- 20、 リモコンが動作しない。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 リモコンアドレスが正しくない。
 - 2 リモコンの距離が遠すぎる、または角度が大きすぎる。
 - 3 電池寿命が切れている。
 - 4 リモコンまたは録画機器のフロントパネルが故障している。
- 21、 録画時間が足りない。
考えられる原因は以下のとおりです。
- 1 前面ビジコンの品質が悪い。レンズが汚れている。ビジコンが背面を照射している。
 - 2 ハードディスク容量が足りていない。
 - 3 ハードディスクが故障している。
- 22、 ダウンロードしたファイルが再生できない

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 メディアプレーヤーがありません。
- 2 DX8.1 以上のバージョンのソフトウェアがありません。
- 3 AVI ファイルを再生するDivX503Bundle.exe ファイルがありません。
- 4 WindowsXP 以上のシステムに DivX503Bundle.exe と ffdshow-2004 1012 の .exe ファイルがインストールされていない。

23、 ローカルメニュー操作の高度パスワードまたはネットワークコードを忘れました。

現地のサービスに連絡するか、本社サービスに電話してください。 機器タイプとプログラムバージョンに応じてサービスを提供します。

24、 デジタルチャンネルでプレビュー画像が見ることができません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 デバイスを追加していない
- 2 関連するチャンネルのデバイスが有効でない
- 3 関連するチャンネルのデバイスが選択されていない。
- 4 選択したデバイスがビデオソースに接続されていない
- 5 選択したリモートデバイスのチャンネルタイトルが存在しない。
- 6 リモートチャンネルのストリームがエクストラストリームに設定されている。
- 7 ユーザー名とパスワードが一致していない
- 8 デバイスを追加するときに誤ったIP アドレスまたはポート番号を入力した。
- 9 追加されたデバイスの解像度が大きすぎて、モニターで表示できない。

25、 “search”をクリックしてもデバイスが検索されません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 ローカルエリアネットワーク上にデバイスが存在していない。
- 2 ネットワークのサブネットマスクが正しく設定されていない。

26、 デジタルチャンネル上の時間がローカル側の時間と同じではありません。

デジタルチャンネルの時間同期機能を有効にしてください。

27、 アナログチャンネルのプレビューが見られません。

考えられる原因は以下のとおりです。

- 1 カメラがビデオインターフェイスに接続されていない
- 2 デバイスがビデオソースに接続されていない。
- 3 ビデオソースが故障している。

28、 複数接続した状態でシフトデバイスすると、画像がフリーズします。

デジタルチャンネルから数秒後に映像が出力されます。シフトデバイスは新しい映像を表示します。そのため、数秒のバッファが必要です。

6.2 メンテナンス

- 1 プリント基板、コネクタ、ファン、マシンボックスなどの埃を定期的に取り払って清掃し

てください。

- 2 ビデオや音声信号にノイズが干渉したり、DVR が静電気やノイズ誘導発生源にならないように、グラウンド接地は十分に行ってください。
- 3 電源をオンしたままビデオ信号線、RS232C 線、またはRS485 線を抜かないでください。
- 4 DVR のローカルビデオ出力ポート(VOUT)にテレビを使用しないでください。ビデオ出力回路が破損する恐れがあります。
- 5 ハードウェアスイッチを直接オフにしないでください。ハードディスクの保護のため、メニュー内の電源オフ機能を使用するか、パネルの電源オフボタンを 3 秒以上押してください。
- 6 DVR を熱源から離して設置してください。
- 7 より良い放熱のために、DVR を通気の良い環境に設置してください。
- 8 定期的にシステムをチェックしメンテナンスしてください。

付録1. マウス操作

*右手での操作を例にします

USB マウス接続がサポートされています。

操作	機能
左ダブルクリック	ファイルリスト内の項目をダブルクリックしビデオを再生します。
	再生ビデオをダブルクリックして画面を拡大または縮小します
	チャンネルをダブルクリックしてフルスクリーン表示にします
	もう一度ダブルクリックするとマルチウィンドウ表示が再開します
左クリック	メニューの機能を選択
右クリック	プレビュー状態でデスクトップショートカットメニュー表示
	メニューで現在のショートカットメニュー表示
	番号設定で数値を加算または減算する
マウス移動	コンボボックスの項目を切り替えます
マウスドラッグ	リスト内のページを上または下にスクロールします
	ウィジェットを選択する、または、ウィジェット内のアイテムを移動します

付録2. ハードディスク容量計算方法

まずハードディスクが DVR に設置されていることを確認してください。特に、IDE ハードディスクのケーブルが接続されていることを確認してください。

1、ハードディスク容量制限

録画機には上限はありません。より良い安定性を保つために、2000GB～6000GB の容量をお勧めします。

2、トータル容量計算

ハードディスク録画容量の計算式は次のとおりです。

容量 (MB) = チャンネル番号 × 時間(h) × 書き込み速度 (MB /h)

録画許容時間の式は次のとおりです。

$$\text{録画許容時間 (h)} = \frac{\text{トータル容量 (MB)}}{\text{録画速度 (MB/時間)} \times \text{チャンネル数}}$$

全体的な容量 (MB) = チャンネル数 × 時間 (h) × 時間当たりの消費量 (MB/h)

DVR は H.264 圧縮技術を導入しています。そのダイナミックレンジは非常に大きいので、ハードディスク容量の計算は、1 時間平均でファイルを作成する各チャンネルの推定値に基づきます。